

# ANTA NEWS

vol.208

2013

1・2

january/february



がんばろう!日本

巻頭特集 2013 新春特別対談 二階会長×杉良太郎氏

## 東北観光復興と アジア観光国際交流活性化へ

年頭挨拶 二階会長・井手観光庁長官

開催目前情報

第9回 国内観光活性化フォーラム in 群馬

ぐんまへ行こう!

平成24年度 臨時総会

第226・227回 常務理事会 第151回 理事会

平成24年度 国内旅行業務取扱管理者試験 実施結果

全旅協観光復興支援ポスター

地球ギャラリー in フィジー



ALL NIPPON TRAVEL AGENTS ASSOCIATION  
社団法人 全国旅行業協会

©TOKYO-SKYTREE



巻頭特集 2013 新春特別対談 二階会長×杉良太郎氏

## 東北観光復興とアジア観光国際交流活性化へ 手を携えてがんばろう！

年頭挨拶 二階会長・井手観光庁長官 ..... 8・9  
 新年のご挨拶 三役・支部長・監事 ..... 10・11  
 第9回 国内観光活性化フォーラム in 群馬 ぐんまへ行こう！..... 12

### 協会情報

平成24年度 臨時総会の開催..... 13  
 第226・227回 常務理事会、第151回 理事会の開催 ..... 14・15  
 平成24年度 国内旅行業務取扱管理者試験 実施結果 ..... 16  
 「全旅協観光復興支援ポスター」掲出ご協力をお願い ..... 16  
 全国観光地所在町村協議会総会の開催 ..... 17  
 第27回 日韓観光振興協議会が函館にて開催 ..... 17  
 観光庁がツアー登山の安全確保の通達を再要請..... 18  
 二階会長のブルネイ・ダルサーム国よりの叙勲を祝う会 ..... 19  
 地域伝統芸能全国大会「ふるさとの祭り2012 in ふくしま」開催 ..... 19  
 「旅フェア日本2012」にANTAブースを出展 ..... 20  
 栃木・群馬観光PRポスターを制作 ..... 21  
 平成24年度 国内旅程管理研修 ..... 21  
 ANTA主催・第1回 苦情対応勉強会 ..... 21

特集 地球ギャラリーinフィジー (JICAの活動)..... 22・23

### コラム

連載「適正な旅行広告作成のために」(第92回) ..... 24  
 連載「添乗からのメッセージ」(第16回) ..... 27・28

### 協会情報

観光庁 主要旅行業者旅行取扱状況速報 ..... 30

### コラム

連載「誰もが安心旅行実現のために」(第11回) ..... 31・32

### 協会情報

平成24年10月・11月 正会員入会者・退会者 ..... 36・37

(株)全旅からのお知らせ ..... 38・39

パズルでひと息／全旅協の動き ..... 40



新春対談  
(二階会長と杉良太郎氏)



平成24年度臨時総会



第9回国内観光活性化フォーラム  
(榛名湖)



旅フェア日本2012



〈表紙の写真〉  
**東京スカイツリー®**  
 2012年5月開業。  
 東京都墨田区にある、高  
 さ634メートルの地上デ  
 ジタル放送用タワー。足  
 元には商業施設「東京ソ  
 ラマチ」など街区「東京ス  
 カイツリータウン」が広が  
 る話題の新観光スポット。

写真提供：東武タワースカイツリー株式会社

顧客へ迅速提案で顧客満足度アップ!!

あっという間に **行程表・見積書** ができる

## 旅行業営業支援 ネットワークシステム **TR・NS**

膨大な施設データを検索・選択するだけで行程表が完成



### 業界最大級のデータベース搭載

|                      |                      |                     |                    |                     |
|----------------------|----------------------|---------------------|--------------------|---------------------|
| 観光施設データ<br>約100,000件 | 道路・移動データ<br>時間・距離・料金 | 宿泊施設データ<br>約18,000件 | 時刻表データ<br>鉄道・飛行機・船 | 学校地点データ<br>約70,000件 |
|----------------------|----------------------|---------------------|--------------------|---------------------|

2012年2月現在

出展  
します

## 第9回 国内観光活性化フォーラム in 群馬

出展日時 2013年1月23日(水)10時～17時 会場 グリーンドーム前橋 (群馬県前橋市) 2F・観光PRエリア

システムを使った行程表・見積書作成を実演します。  
 ブロードリーフブースにぜひお立ち寄り下さい!

展示会では行程表や見積書作成はもちろん、売上・仕入実績を簡単に集計できる「TR・NS」をはじめ、  
 業務効率化をサポートするシステムを多数ご用意。

- さらに
- 1 ブース来場者には「すべらないメモ」をプレゼント!※
  - 2 会場にて当社システムをご予約頂き、2013年3月15日(金)までに  
 ご成約頂いた方には、ご成約記念品を贈呈いたします!

便利なITツールもあわせてご紹介予定!

次世代ファイル管理システム

**Ex@Pad**

カウンター店舗や営業先でも、PCや  
 タブレットが強力なビジネスツールに!



クラウドタイプ

**順番予約システム**

順番予約・整理券発行・自動電話呼出で  
 来店顧客のスムーズな対応を実現



ブース来場者に  
**プレゼント**※



デスクワークに便利!  
**「すべらないメモ」**

※プレゼントはなくなり次第終了となります



株式会社ブロードリーフ

ソリューション営業部 旅行営業課 ☎0120-47-2610

製品の詳しい説明や、[www.broadleaf.co.jp](http://www.broadleaf.co.jp)

資料請求・無料デモの  
 お申込みは

トラベルルート

検索

メールでのお問い合わせは… [product\\_info@broadleaf.co.jp](mailto:product_info@broadleaf.co.jp)



ということ、僕と、家内の伍代夏子、瀬川瑛子さん、山本譲二さん、スピードスケートの清水宏保さんをはじめ、たくさんの方々が協力して、野外や会館で歌わせていただきました。

光栄なことに、訪れた各地で大歓迎を受けました。駅に降り立つと、もう3〜4時間前からお年寄りの方たちが椅子に座って、私たちが駅の改札から出てくるのを待っていてくれたのです。90歳を越える方々もいらつしやいました。そうした光景を見ると、この催しがあれば会うことのできなかつた被災地の方々にお会いでき、大喝采を浴びながら公演できたことは、私たちにとても本当に大きな感動となり、また感謝をしております。



社団法人全国旅行業協会 二階俊博会長

三陸鉄道では、電車の前に『杉良太郎号』のプレートをつけて、年間のコマ―シヤル代を支払うことで支援をしています。先日契約を更新し、その支援も2年目に入っています。

また、東北復興支援で一番思いに残っているのは、震災直後の2011年の4月に、この都内の私の会社で、カレー5700食と具沢山の豚汁など計2万食を作ったことです。食材は、風評被害のあるJAから仕入れました。私はデビュー当時、カレー屋さんで2年間働き、無給の代わりに朝昼晩と3食カレーを食べ続けた経験がありますが、東北のカレーもその時と同じレシピで作りました。できあがって直ちに大きなトレイラーを含む車両15台にガソリン、水2トン、下着類4000枚、照明器具、入れ歯洗浄剤500個などの救援物資を乗せて、被災地の各地を回りました。

2012年4月にも、福島第二原子力発電所の最前線の作業基地であるJヴィレッジを訪問して、コンサートを行いました。私たちが並んで深呼吸をしていると、「何をやっているのか」と警察官に尋ねられ、「少しでも放射能を減らすために、空気を吸っています」と答えたことを思い出します。

**二階会長** 歌の力は大きく、東北の方々に大きな勇気と元気を与えてくれました。観光にとって、歌をはじめとする文化の力はとても大きい。まさに

観光は文化や歴史の探訪です。その土地土地、その国々の文化や歴史を観光にどう結びつけていくのか、我々旅行業界の力量が問われるところです。旅行や観光という世界は、極めてバックグラウンドの大きな世界であり、そうした旅行者の期待にどう応えていくのか、全国旅行業協会としても心が引き締まる思いです。

旅行業者は、お客様をどこかのホテルにご案内すればいいというようなことではなく、地域の誇りである文化の面、歴史の面、さらには地域の社会や経済との交わりなどを考えながら、これからの旅行の魅力づくりを考えていかなければなりません。それができれば、旅行業はもともと大きなフィールドに立つことが出来るでしょう。インターネットの時代となり、旅行業社を利用しなくても旅行ができるようになったと言われるが、プロの旅行業ならではのアイデアを出し、これまでの経験を活かして、立派な業績が上がるように、旅行業界として会員の皆さんには是非奮起して頑張っていただきたいと思っています。

**(司会)** 杉良太郎さんは、観光に対する文化、芸能の果たす役割について、どのように考えておられますか。

**杉氏** 有名人がテレビの旅番組に出演し、各地の美味しい食べ物や、居心地のよい旅館、素敵な温泉などを紹介することは、ある程度は牽引役になると思



俳優・歌手 杉良太郎さん

います。例えば松本清張が原稿を書いた宿などが紹介されたら、その部屋を是非見てみたいという気持ちができると思います。

ただし、それだけでは観光は発展しないでしょう。今の日本人は、実は日本を知らないのではないのでしょうか。例えば、これまで自分が訪れたことのある場所に線を引いていくと、実は自分のテリトリーからあまり出ていないことに気付くと思います。それでは人生は損です。日本各地を見て、日本を評価する日本人が出てこないといけない。外国人はよく調べてから来るので、日本人よりも日本を良く知っていると感じることがあるのはある意味で残念なことです。

そのためには、もう少し日本人の心に



俳優・歌手

杉良太郎

**三陸鉄道に杉良太郎号が走る！**  
**歌の力で東北を元気に**

**(司会)** 新春にあたり、全国旅行業協会の二階俊博会長と俳優・歌手の大御所である杉良太郎さんに新春対談をお願いすることになりました。杉良太郎さんは、歌手や俳優としても大活躍をされておりますが、国内外で社会貢献活動やボランティア活動に幅広く取り組んでおられ、また、日本とベトナムの架け橋となる活動に25年近くの長きにわたって取り組んでおられます。

**二階会長** 東日本大震災では、三陸鉄道が大きな被害を被り、再起できるかどうかという状況の中で、国土交通省の幹部から三陸鉄道の復興支援について相談されました。そこで私は、音楽を通じて人々の心を温かくし、復旧への意欲を持ってもらうため、誰か著名な音楽家に被災地を訪れて頂いてはどうでしょうかと提案しました。一流の方に、しかも出演料も用意せずにお願

するのは難しいことでしたが、私は思いきって杉良太郎さんの男気に期待してお願いしたところ、杉さんは二つ返事で「ご了解いただきました。また、奥様の伍代夏子さんも一緒に参加して頂けることになりました。」

杉さんは、かねてより社会貢献活動に積極的に取り組まれており、常々敬意を払っておりましたが、この三陸鉄道の復興支援イベントの際には、本当に夏の炎天下の太陽が照りつける中で、歌って下さいました。杉良太郎さん、伍代夏子さんのお名前を聞いて、東北各地でたくさんの方々が集まってこれ、この催しは大成功を収めました。誰もができることではありません。杉さんと杉さんのファミリーの方々には国土交通省も大変感謝されております。

**杉氏** 東北復興支援への取組みは、二階会長と常に相談しながら進めてきました。三陸鉄道や津軽鉄道の支援では、歌を歌ってほしいとの要望があり、その土地土地で必要とされるものをやろう

## 東北観光復興と アジア観光国際交流活性化へ 手を携えてがんばろう！

2013  
新春特別対談





杉良太郎さん・伍代夏子さんらの協力を得て  
岩手県の宮古駅で復興支援イベント（2011年6月）

## ベトナム・ASEANとの 交流拡大

ゆとりが欲しいですね。家族や友人で旅行を楽しむゆとりがあれば、そこからまた、旅を通じた新たな発見もあるでしょうし、生活や考え方まで変わる場合もあります。

例えば、家内の伍代夏子は、僕の全然知らないところを知っています。彼女は、非常に多くの全国の市町村を巡り、驚くほどたくさんの方々の名刺を持っています。これは、各地で行われるお祭りに呼ばれるためで、お祭り歌手、と呼ばれる由縁です。伍代夏子は、ANTAや国内旅行の大使をやらせてもらえばいいのではないかと思うほどです。

そして、彼女が全国津々浦々で活動しているお陰で、僕は各地のお米や野菜など、その土地土地の特産品を食べる機会に恵まれ、日本はなかなか良いところだと知ることができます。これはとても大切なことだと思います。



長年支援しているベトナム・ハノイ・グエン・ディエン・チエウ盲学校にて（2010年10月）

にみても、日本とベトナムとの関係は深く、日本を非常に慕ってくれています。1989年に初めて、ベトナムを訪れた時、素朴で純粋な国民性に惹き付けられるものがあり、昔の日本人に会ったような気がしました。そのとき、ハノイのバックラー孤児院を訪れたのですが、食事が少ないせいなのか、孤児たちの無気力な様子を見て心を痛めました。そこで、孤児院に300羽の鶏を寄附し、子供たちに鶏を育てさせ、産んだ卵の半分を食べて半分を売る。その売り上げでまた鶏を買う。というような長期的な自活ができるような支援を始めました。その後も孤児との関係は深まり、今では里子は61人になりました。

ベトナムでは2011年に日本とベトナムの人気アイドルアーティストに参加して頂いて第2回日越友好音楽祭を開催しました。

特に、今年2013年は、『日本ベトナム外交関係樹立40周年』であり、『日・ASEAN友好協力40周年』の節目でもあります。そこでは是非、二階会長と相談しながら、今年は日本で『日・ASEAN音楽祭』を開催したいと考えています。日・ASEAN音楽祭の開催は過去に例がありません。既に関係省庁にもご相談しており、外務省も非常に前向きです。

日・ASEAN音楽祭には、ASEAN各国から代表的な歌手に参加して頂



第2回日越友好音楽祭にて（2011年10月）

き、各国のテレビ局が生放送することを考えています。日本からも、過去に例のないビッグな顔合わせを実現しようとして計画しています。また、音楽祭の売上は、私を取り組んでいる肝炎対策などの人道的支援に充てたいと考えています。

一方、ベトナムでは、今年6月に新進アーティストの辻井伸行さんがハノイとホーチミンで2時間のコンサートを開き、ベトナム放送が放送することが決まっています。また、その前日にはホテルでジャパンデーというイベントを開催し、寿司職人や和菓子職人によるパフォーマンス、日本の祭りや踊り、江戸時代のマジックなどを紹介するほか、芸者さんと共に、伍代夏子が歌うステージショーも披露する計画です。



弘法大師・空海を偲ぶ法会及び祈願（於：青龍寺）（2012年8月）

**二階会長** 長年のご努力により、今、ベトナムで杉良太郎さんの名前を知らない人がいないぐらい、皆さんの心に焼きついています。そうした努力によって、今日のような日本とベトナムとの良好な関係が築かれているのだと確信します。

私は、経済産業大臣時代に、『東アジア・アセアン経済研究センター』（ERIA）を設立するため、アセアンの15カ国の関係閣僚に接触しましたが、関係者はみな温かかったですね。そして、日本は兄貴分なのだから、兄貴分らしい振る舞いをしてほしいと言われたのが心に残っています。日本は期待に応えるために、観光交流の分野においてもアセアン諸国との交流の拡大に一段と奮起をすべきです。日本とベトナムのさらなる発展のために、日本の歴代関係者がみな努力

をしており、だんだんと芽が出てきつつあると感じます。しかし、もっと早いテンポで、日本の技術や友好の気持ち、ベトナムの人々の生活の向上に具体的に役立って立つたと言われるところまで、さらに努力すべきです。

今、杉さんからご提案のあったASEAN音楽祭の開催には、私も大賛成です。私は、超党派のERIA推進議員連盟の会長をやらせて頂いておりますが、同志にも呼びかけたいと思っています。全国旅行業協会としても、JATAとも協力してASEAN諸国との観光交流の拡大のために及ぶ限りの応援をしていきたいと思っています。

**杉氏** ありがとうございます。2013年のASEANとの観光交流の促進に向けて共に取り組みましょう。

## 中国・西安に500名超の使節団派遣 今こそ旅行の力で友好発展を

**（司会）** ところで、昨年2012年は、日中国交正常化40周年の節目の年でした。旅行業界では8月末に、空海の法会を行うため、500名を超える方々が訪中し、西安の都に集まられたと伺いました。時がただけに、日中双方にとって、非常に考えさせられる大きな意味のある行事だったと思います。

**二階会長** 弘法大師空海が中国で修業したことは、誰もが知っているように、て、案外知られていません。そのため今

回、旅行業界の代表や、高野山のお坊さん16名を含む総勢520名で、『弘法大師空海を偲ぶ日中交流使節団』を組織して西安を訪れ、空海が学んだ青龍寺で法会と祈願を行いました。この法会は、高野山と青龍寺の住職による日中合同で営まれ、先人の遺業を偲ぶだけでなく、日中両国のさらなる友好発展を祈願しました。法会の後には、西安市内の大唐芙蓉園で、銀杏と百日紅の記念植樹と大賀蓮の植え付けも行いました。

また、日中友好交流会では唐家璇元中国外相・中日友好協会会長が講演されましたが、日中関係の現状を憂慮しつつも、「中日両国は、どんな時も友好の信念を堅持し、旅行の促進をプラットフォームとして相互理解を深め、友好発展につなげるべき」と仰いました。私は「互いに知恵を出し合い、今の状況を乗り切っていきましょう」と応じ、旅行業界の方々と誓いを新たにしました。

心に残っているエピソードが一つあります。使節団の訪中前に、私は言いにくいことですが、青龍寺のトイレについてご婦人方がとくに心配していることを程永華駐日中国大使と趙正永陝西省省長にお伝えしました。すると、我々の到着2日前までに綺麗にしておきますとの返事があり、本当だろうかと思つたら、トイレは全て新装されていました。

日中関係は、そんなところでも気持ち通じ合っているのです。売り言葉に

買い言葉で喧嘩するのは簡単ですが、日中国交正常化40周年を迎える今日まで、先覚者の皆様のご努力には大変なものがあります。それを我々はどう一度感じて、反省してやっていくことが重要だと感じます。

さらに、西安で陝西省省長と会談した際に、次回の訪問時にはクジラをお土産として持つていくことを申し上げました。私の郷里の和歌山県太地町は、クジラで有名ですが、自然の湾を活用し、クジラの放し飼いができるような海のいけすを作る大構想があります。陝西省は中国の内陸中部にあり、もちろん海はありませんが、池や水族館などの設備は中国側に作ってもらい、日本からは和歌山県太地町のクジラを連れて行こうと同行の三軒太地町長と共に話したのです。





杉氏 生きたクジラを連れて行くのですか？

二階会長 そうです。あの西安の地にクジラが泳ぐのです。イルカやゴンドウクジラの一種で、体長は5メートルぐらいあります。これが実現できれば、私は西安への観光客が100万人は増える、いやも

つと増えるだろうと思っています。また私は、中国の人々にクジラの肉を給食などで食べてもらえば、日本の水産業界も元気になり、生態系を守る一助にもなります。日本の食文化の歴史を知ってもらう機会にもなると考えています。今回、クジラの話は国内で初めて話しました

## 2013年は国際観光交流と

### 国内観光の活性化を積極的に対応

(司会) ところで、最近、若者の旅離れが問題となっているのですが、杉さんはこの問題についてどう思われますか。

杉氏 まず一つには、日本から海外への留学生が少なくなっています。若いうちに海外に出ないことは、日本の将来を担っていく若者にとっても、日本という国にとっても、ものすごくマイナスだと思います。私たち日本人は、国内や海外をもっとと見て回り、知見を広める必要があると痛切に感じています。

また、若い人が旅行に出かける場合、国内より海外の方が旅行代金が安いいため、海外旅行に行ってしまうという話もよく聞きます。私の事務所でも、2月に社員旅行に出かけますが、若者が探してくるのは安くて、便利で、自由なツアー。今の若い人はシビアなんだと思います。

なぜ国内旅行が海外に比べて割高なのか、仕組みはよくわかりませんが、若い人達がもっと国内旅行にも行けるような仕組みを作ってほしいですね。

私は昨年、芸能活動48年、福祉活動53年を迎えました。福祉活動は15歳から行っており芸能活動よりも長く行っています。その経験を通じて得た教訓は、知らずして語ることが一番誤るゝということ。見る目がありながら見ず、聞こえる耳がありながら聞

かないのは、最も残念なことです。人的交流を含めて、実際に現地へ赴き、人々と語り、様々なことを感じて、実体験として物事を語ることが、その人や国を成長させると思っています。私は2013年も、そうした活動を継続していきたくと考えています。

(司会) 二階会長の2013年の抱負はいかがですか。

二階会長 旅行業界はデフレが続く中で、非常に重たい雰囲気での越年だったと思います。私は、5600社の会員を預かる全国旅行業協会の会長として、業界の発展を期することは当然ですが、何よりも仲間の会社を潰さないようにすることが一番大事だと常に思っています。おかげさまで、関係者の奮起や金融関係の配慮もあって、そうした心配もほとんどなくて、2013年の観光交流の目標を語り合うことができます。とは、本当に幸甚なこと。です。

2013年は二つに、国際観光交流の活性化という問題を避けて通れないでしょう。しかも、避けて通れないといった消極的な対応ではなく、国際交流をいかに前向きに捉えて、成長の糧とするか。何千何万という近所の方を旅行にご案内できるのは、旅行業に携わっているからこそです。その喜びを噛みしめて、海外と交流していくことを2013年の目標にしなければなりません。

一方、国内では、それぞれの地域に観

が、新春に相応しいテーマだと思います。是非これを実現するために、各界のご協力をお願いしたいと思っています。

杉氏 旅行業界の関係者のさらなる奮起を期待しています。また、国際交流を進める上では、トイレの整備は本当に基本になりますね。先日、カザフスタンに行きましたが、観光地のトイレ事情がとても悪く、とくに女性はどうしたものかと困りました。海外だけではなく、例えば日本でも新幹線のトイレの匂い対策など、まだまだ改善の余地があるところが多いと思います。

二階会長 各企業への融資の道を開くか、税制上の優遇制度を考えなければ、トイレの国際化はなかなか進まないと思っています。しかし、正直にいうとトイレを綺麗にしなければ、お客様が来ないのは厳然たる事実です。観光庁も色々な政策を進めています。観光予算の中で融資の道を検討すべきであり、それができなければ、経産省の中小企業庁で検討する必要があると思います。

また、インフラ整備の関係では、鉄道や航空などのバリアフリー化もしっかり進めていきたい。小渕内閣の頃、運輸大臣として交通バリアフリー法の制定に努力した者として、その後の進捗状況なども含めて徹底的に追求し、課題に対処していきたいと考えています。

杉氏 もう一つ、二階会長にお願いがあります。昨年12月に中央自動車道笹

光商品の素材となる魅力あるテーマが沢山潜んでおり、そこに光を当てていくことが観光立国の実現のために重要だと思っています。

全国旅行業協会は、観光立国実現のために、全国の会員が一堂に会して、日本の豊かな自然・風土文化に精通した地域の観光・宿泊・行政などの関係者と一体となつて地域の隠れた観光資材掘り起こし、「地旅」という着地型旅行を推進して国内観光を推進するための「国内観光活性化フォーラム」を全国各地で開催しています。2013年は、年明け早々の1月23日に群馬県前橋市において開催されます。また、2014年春には和歌山県において、1万人のお客様を迎えて盛大なフォーラムを開催したいと思っています。その後、参加者の皆さんには紀伊半島に分散して旅行を楽しんで頂きたいと思っています。

今年2013年は、観光交流がさらに大きな役割を果たす1年になると思います。

観光が明るくなれば、世の中は必ず明るくなります。これまで培ってきた長年の経験と英知を結集して、全国5600社の会員企業の発展のために全国旅行業協会としてこれまで以上に対応していきたいと思っています。

杉氏 日本の土地土地の素晴らしさ、魅力を実際に現地を訪れて実感してもらえよう旅行商品を全国旅行

子トンネルで痛ましい天井板崩落事故が発生しましたが、老朽化したトンネルなどが改修されずに放置されていることは深刻な社会問題です。また、和歌山県を観光でよく訪れるのですが、例えば、県内を車で移動するとき、道路が本当に不便で、あまりにも時間がかかり過ぎてしまったため、高野山から熊野古道、クジラで有名な太地町などを観光したいと思っても、なかなか足を伸ばせません。道路がもう少しなんとかありませんでしょうか。

二階会長 全く、杉さんの仰るとおりです。日本には高度成長期に整備された老朽化したトンネルや橋が数多くあり、その緊急な改修工事の必要性について私はこれまでずっと訴えてきました。笹子トンネルの改修が被害を受けた。笹子トンネルの改修が被害を受けた。前にすんでささいいればと悔しく思うところです。また、私は和歌山に生まれ育ちましたが、和歌山県の道路事情についてはせめて他県と同じレベルで競争できるように整備してほしいと、何度とも言つてきております。

素晴らしい観光地も安全で安心して道路や鉄道などのアクセスがなければ訪れることはできません。いつ身にふりかかるかわからない災害から国民の生活と財産をしっかりと守り、また、万一災害が発生した場合においても被災が図られるような、日本のインフラ整備を緊急に進めたいと考えています。

業協会の皆様には是非とも作つて頂きたいと思っています。日本人が日本の良さを発見して元気になれるような活動を二階会長と力を合わせて行つていきたいと思います。

二階会長 ありがとうございます。これからの日本の観光立国実現のためにぜひ、杉良太郎さんのお力をお貸しください。

本日は有益な対談の機会を設けて頂きありがとうございます。(了)

### 〈杉良太郎さん(俳優・歌手)のプロフィール〉

- 昭和19年 兵庫県神戸市生まれ
- 昭和40年 コロムビアレコードよりレコードデビュー
- 昭和42年 NHK「文五捕物絵図」の主演で脚光を浴び、以来1400本以上の作品で主演
- 平成8年 長年の舞台活動と文化交流を高く評価され文化庁長官表彰を受章
- 平成20年 芸能人初の緑綬褒章を受章
- 平成21年 春紫綬褒章を受章
- ・芸能界デビュー前より刑務所慰問・視察など献身的な福祉活動が続けており大臣表彰を数多く受賞されている。
- ・現在は、法務省から特別矯正監、日本とベトナムの両国の外務省より特別大使、厚生労働省より肝炎対策国民運動特別参与を委嘱されている。



# 新年のご挨拶

社団法人

全国旅行業協会

会長

一階 俊博



明けましておめでとうございます。本年が実り多き年になりますよう心よりお祈り申し上げます。

全国旅行業協会は、会員の皆様、ご関係の方々のご協力のお陰で、日々躍進を続けております。皆様の協力に心より感謝を申し上げます。

さて、昨年3月の東日本大震災の発生から1年10カ月が過ぎようとしております。現在でも東北地方は原発事故による風評被害などにより依然厳しい状況が続いており、ようやく復興の兆しも見えてはいるものの、外国人観光客の回復を含め本格的な回復には至っていない状況です。

このような中で、昨年12月の仙台市での「観光で復興を。仙台シンポジウム」に引き続き、昨年12月には山形市において「震災復興 観光推進国民会議」により、東北各地を観光で元気にするため、「山形フォーラム」風評被害を乗り越えて「」が開催されました。時宜を得た取

組みであり、関係の皆様のご努力に敬意を表したいと思います。

全国旅行業協会としても、東日本震災の被災地域の観光復興のため、昨年10月から「東北・東日本観光復興支援キャンペーン」を展開し、正確な情報の提供による風評被害の払拭、送客支援等に努めております。昨年11月にはこのキャンペーンをさらに1年間延長し、引き続き東北・東日本の観光復興のための取組みを全会員が一体となって展開しております。

特に、観光庁におかれては、昨年1月から東北地域において東北観光博を開催して東北各地への観光需要を盛り上げておりますが、全国旅行業協会としても、東北観光博に協力して、被災9県の在住者、在学者等を対象に被災地域の全国旅行業協会の会員が実施する東北観光博28ゾーンへの旅行に対して旅行代金の一部を助成する「ANTANA東北観光博応援ツアー」を昨年7月から実施しており、旅行需要の喚起を通じた東北の観光復興支援に努めております。

日本の再生を図るためには、今回の震災の教訓をしつかり学び、日本の復旧・復興への確固とした対応が必要です。旅行業は地域に根ざした産業であり、素晴らしい観光地も道路や鉄道などのアクセスがなければ訪れることはできません。いつ身にかかりかかわからない災害から国民の生活と財産をしつかりと守り、また、万一災害が発生した場合においても減災を図られるよう、しなやかな国づくりが重要であると考えます。一刻の猶予もありません。

昨年9月には、全国旅行業協会の沖縄本土復帰40周年記念事業として、沖縄県宜野湾市の沖縄コンベンションセンターに日本で有数の堅い木であるリュウキユウコクタンを贈呈し、植樹式を挙行了しました。そのしつかりとした成長を見守りつつ、復帰50周年に向けて沖縄の二層の観光振興と全国旅行業協会会員のますますの発展を期待しております。

国際観光交流に目を転じると、昨年5月から8月まで隣国の韓国麗水（ヨス）市において2012麗水世界博覧会が開催されました。全国旅行業協会は、世界博覧会組織委員会及び韓国観光公社との間で業務協定を結び、その成功のために全面的に協力して参りました。私自身も、昨年7月のANTANA代表団をはじめ度々現地を訪問しました。全国5600社の会員の皆様には麗水万博への送客支援活動に全力で取り組んで頂きました。

また、日中国交正常化40周年の記念事業として、全国旅行業協会は一般社団法人日本旅行業協会、社団法人日本観光振興協会に呼びかけ、空海が学んだ西安の都に昨年8月末に「弘法大師空海を偲ぶ日中交流使節団」を派遣し、青龍寺などにおいてたくさんの方の印象に残るような記念行事を実施しました。中国側からも唐家璇中日友好協会会長・中国元外務大臣が出席され、日中双方から600名が参加して盛大に日中友好交流会が開催されました。現在の日中間の複雑な状況の中で、私達の真心からの日中観光交流は成功裡に終えることができました。

一方、訪日外国人旅行は、大震災の影響で落ち込んだ外国人旅行者が戻り始めた矢先での、近隣諸国との領土をめぐる問題により双方の訪問客が減少し、未だその影響が続いております。これらの状況を打開するには、平和産業である私たち観光業界が先頭に立つて、近隣アジア諸国との観光交流による友情と友好の輪を拡げていくことが大切であります。

昨年は旅行の安全にかかわる事件が発生しました。4月には関越自動車道で高速ツアーバス事故が発生し、全国旅行業協会では、国土交通省による高速ツアーバス等の安全確保対策の通達等の情報を会員に周知徹底するとともに、法令順守と安全の確保の徹底を会員各社に呼びかけております。また、昨年11月には中国でのツアー登山事故が発生しました。全国旅行業協会では、平成22年にJATAと共同で策定した「ツアー登山運行ガイドライン」を会員に周知し、より安全なツアー登山を推進しております。今後も、旅行者の安全に万全を期して快適な旅行が確保できるよう、会員の皆様へ迅速な情報提供と呼びかけを行って参ります。

全国旅行業協会は、本年4月に一般社団法人へ移行するための準備を進めております。一般社団法人に移行した後は、旅行業法に基づく旅行業協会としての使命を的確に果たしつつ、従来以上に会員の皆様や旅行者に役立つ事業運営を図って参りたいと考えておりますので、会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

全国旅行業協会は、年明け早々の今年

00社の会員が一体となって力を発揮し、全国旅行業協会会員企業の発展に努めたいと存じます。

年の始めに当たり、所感の一端を申し上げます。皆様のご繁栄とご多幸を祈念し、年頭のご挨拶といたします。

## 年頭所感



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

本年は、小泉元内閣総理大臣が施政方針演説で観光振興に政府を挙げて取り組むことを表明し、ビジット・ジャパンキャンペーンを開始してから10年となる節目の年であり、観光立国の実現に向けて更なる取組みを進めるべき新たな段階を迎えたと認識しております。

我が国の観光の現状を見ると、国内旅行については、東日本大震災の影響から回復傾向にあるものの、東北をはじめ、未だ厳しい状況に置かれている地域もあります。このため、昨年3月から民間の皆様

お力も得て「東北観光博」を実施しておりますが、特に貴協会におかれては「東北観光博応援ツアー」への助成など観光業界をリードする積極的な取組みをして頂いており、改めて感謝申し上げます。

国内旅行の促進のためには、国内外から選好される魅力ある観光地域づくりが重要です。観光地域づくりプラットフォームによるマネジメント体制の構築等の観光圏制度の見直しや、地域独自の「ブランド」確立を通じた日本の新しい顔となる観光地域の創出など、観光庁としても戦略的な観光地域づくりをしつかり後押しし、国内旅行が促進されるよう積極的に取り組んでまいります。

アウトバウンド（日本人の海外旅行）については、昨年は円高やLCCの就航といった状況もあり順調に推移しておりますが、今後も観光立国推進基本計画（平成23年3月31日閣議決定）に定められた「平成28年に2000万人」の目標を実現すべく、ミッションの派遣、周年事業の活用など、諸外国との双方向の交流拡大（ツーウェイリズム）を図るための官民一体となった取組みを着実に進めてまいります。インバウンド（外国人の訪日旅行）につい

回の第10回国内観光活性化のフォーラムについては、来年2月に和歌山県で開催することが決定しております。

観光が明るくなれば、世の中は必ず明るくなります。これまで培ってきた長年の経験と英知を結集して、今こそ全国56

観光庁長官

井手 憲文

では、訪日観光需要の回復に向けた様々な取組みにより震災前の水準まで回復しておりますが、目標としていた「訪日外国人旅行者数900万人」の達成は難しく、なお一層の取組みが求められております。訪日外国人旅行者数が過去最高を記録した2010年でも861万人であり、これは、アジアで8位、世界でも30位という位置にとどまっています

が、視点を変えて見れば、日本は観光資源に恵まれた将来有望な「新興国」と言えます。必ずや観光先進国になることができはらずであり、今後は、従来以上に工夫を凝らして積極的に様々な取組みを実施してまいります。

一方、観光が我が国の経済成長の新たな牽引役となるためには、その直接の担い手である観光産業の強化が不可欠です。これまでの観光政策の議論は、外客誘致キャンペーンやプロモーション活動に関するものに留まることが多く、旅行業をはじめとする観光産業のあり方やその強化策についての視点が必ずしも十分ではありませんでした。この点をしつかりと認識した上で、日本の観光産業が内外のユーザーや観光関係者からの評価を高めて我

が国観光産業のブランドを確立し、世界最高・最先端の観光産業への飛躍を目指していくことが必要だと考えております。現在、「観光産業政策検討会」において有識者の方々に議論して頂いており、今後とりまとめられる提言書の内容を踏まえて、民間の皆様とともに順次取組んでまいりたいと考えております。

また、昨年は関越自動車道における高速ツアーバス事故や、中国万里の長城遭難事故が発生するなど、旅行の安全に対する意識が問われた年でもありました。旅行業においては、当然のことながら、旅行者の安全を確保することが大前提です。このような事故の再発防止のための対策はもちろんのこと、旅行会社における組織的な安全マネジメントの仕組みについても必要性が指摘されております。この旅行の安全の確保の問題について、今後、民間の皆様と行政とが一体となって具体的な取組みを進めていく必要があると考えております。

本年は、観光庁設置から5年目を迎えるという意味でも節目の年となります。観光立国の実現に向け、職員が一丸となって取り組んでまいりますので、貴協会及び会員の皆様方の層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



新年明けましておめでとうございます  
本年も会員の皆様と共に旅行業界発展のため 頑張ってまいります

平成 25 年元旦 社団法人 全国旅行業協会

三 役



会長  
二 階 俊 博



副会長  
徳 永 雅 典



副会長  
加 藤 正 明



副会長  
鈴 木 明 治



専務理事  
有 野 一 馬

北海道地方協議会



北海道支部長  
常務理事  
和 田 雅 夫

東北地方協議会



青森県支部長  
常務理事  
折 館 公 彌



岩手県支部長  
高 橋 幸 司



宮城県支部長  
濱 田 保



秋田県支部長  
佐 藤 武 義



山形県支部長  
清 野 幸 男



福島県支部長  
小 林 次 郎

関東地方協議会



茨城県支部長  
理事  
木 村 進



栃木県支部長  
常務理事  
國 谷 一 男



群馬県支部長  
武 井 哲 郎



埼玉県支部長  
浅 子 和 世



千葉県支部長  
理事  
齋 藤 忠 義

京浜地方協議会



東京都支部長  
常務理事  
青 山 能 久



神奈川県支部長  
理事  
坂 入 満



山梨県支部長  
志 村 勇

北信越地方協議会



新潟県支部長  
青 木 利 道



長野県支部長  
滝 沢 博



富山県支部長  
早 川 祐 一



石川県支部長  
北 敏 一



福井県支部長  
常務理事  
平 田 龍 雄

東海地方協議会



岐阜県支部長  
神 谷 利 夫



静岡県支部長  
理事  
勝 又 洋



愛知県支部長  
常務理事  
寺 井 一 俊



三重県支部長  
山 出 良 一

近畿地方協議会



滋賀県支部長  
常務理事  
中 川 安 之



京都府支部長  
岩 佐 光 夫



大阪府支部長  
理事  
永 野 末 光



兵庫県支部長  
兒 島 武



奈良県支部長  
中 川 宜 和



和歌山県支部長  
小 倉 範 好

中国地方協議会



鳥取県支部長  
真 山 得 治



島根県支部長  
小 河 英 樹



岡山県支部長  
常務理事  
近 藤 幸 二



広島県支部長  
花 岡 正 雄



山口県支部長  
武 下 孝 司

四国地方協議会



徳島県支部長  
大 谷 稔



香川県支部長代行  
藤 澤 吉 道



愛媛県支部長  
佐 伯 要



高知県支部長  
理事  
山 中 盛 世

九州地方協議会



福岡県支部長  
森 岡 敏 夫



佐賀県支部長  
村 山 輝 昭



長崎県支部長  
岩 本 公 明



熊本県支部長  
小 野 浩



大分県支部長  
常務理事  
高 橋 光 昭



宮崎県支部長  
松 葉 藤 吉



鹿児島県支部長  
中 間 幹 夫



沖縄県支部長  
堤 朗

監 事



常任監事  
塩 沢 貞 夫



監事  
長谷川 晋也



監事  
酒 井 和 夫



# 開催目前情報！

## 第9回国内観光活性化フォーラム in 群馬

### ぐんまへ行こう！

平成25年1月23日（水）に地旅シンポジウム翌24日（木）にエクスカーションを実施

### 新春特集



写真：富岡製糸場

第9回国内観光活性化フォーラムが平成25年1月23日（水）に群馬県前橋市のグリーンドーム前橋にて当協会の主催、（株）全旅の共催により、開催されます。

1月23日は、基調講演・パネルディスカッションを中心としたシンポジウムに加え、「G旅（ジータビ）オンステージ」では、「ぐんま観光特使」である地元出身のタレントのおかもとまりさんがMCとなり、90分のステージショーで群馬の魅力を伝えします。また、コンコースでは、今年度ゆるきやらグランプリ第3位になった「ぐんまちゃん」をはじめとするゆるきやら達がお出迎えするとともに、群馬県内外の観光PRコーナーでは群馬県内ほとんどの市町村が出展し、群馬の旅行素材博のイメージを紹介します。この他、50店以上の地元を中心とした物産の出店や、夜の懇親会での地元名物屋台コーナー30店以上の出店が決定しています。

翌24日は、エクスカーションとして県内7コースを実施し、新しい群馬県内の着地型旅行を実際に体験していただきます。

群馬の観光の魅力を思う存分体験してください。

ANTA会員をはじめ、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

## 《平成24年度臨時総会の開催》 地域限定旅行業の創設に伴う協会会費設定を承認 山中氏を理事選任・一般社団法人移行経理説明会を開催



平成24年度臨時総会

平成24年度臨時総会が12月17日（月）に東京品川のホテルラフォーレ東京で開催された。今回の臨時総会は、着地型旅行促進のため、地域限定旅行業を創設することに伴い、新たに当協会として入会金及び会費を設定する必要があるため開催された。臨時総会には103名の役員及び代議員が出席、3141通の委任状が提出され、鈴木副会長の開会宣言でスタートした。

創設に伴う協会入会金及び会費設定案  
観光庁は、着地型旅行の商品提供を促進するための取組として、地域限定旅行業の創設等を内容とする旅行業法施行規則の改正を行い、平成25年4月1日から施行する予定である。このため、当協会としても新たに地域限定旅行業正会員の協会入会金及び会費を創設することが説明された。

具体的には、保証社員としての保証額の違い等を勘案し、入会金は40万円、本部会費は2万円、支部会費は5千円とし、施行日は、省令改正と合わせ平成25年4月1日とすることが提案され、原案どおり承認された。

（参考）  
地域限定旅行業の業務取扱範囲等  
・営業所のある市町村並びにこれに隣接する市町村等の限定された区域についてのみ、企画旅行、手配旅行等を行うことのできる旅行業の類型として

地域限定旅行業を創設する。  
・営業保証金の最低額、基準資産額ともに100万円とする。  
・第3種旅行業者が募集型企画旅行を実施する場合の事前収受金の制限（旅行代金の20%相当額以下）を撤廃し、募集型企画旅行をより取扱いやすくする。

第2号議案：一般社団法人移行後の協会支部会費案  
平成24年度通常総会（平成24年6月20日）において承認された「一般社団法人移行に係る支部の基本的な考え方」に基づく「支部会費」の設定について説明され、その後、協会支部会費案が提案され、原案どおり承認された。

第3号議案：理事の補充選任  
第151回理事会で推薦された四国地方協議会議長（高知県支部長）である山中盛世氏の理事の補充選任が提案され、原案どおり承認された。



一般社団法人移行経理説明会





第226回常務理事会

## 《第226回常務理事会・第151回理事会・第227回常務理事会》 平成24年度臨時総会の開催を審議 平成25年度事業計画の骨子を協議

### 第226回常務理事会

第226回常務理事会が平成24年10月16日午前11時より東京品川のホテルラフォーレ東京で開催された。

徳永副会長による開会挨拶がなされた後、報告事項に入り、本部事務協よりANTA東北観光博応援ツアー実施状況の中間報告、及び支払い遅延により退会勧告要請を行った1会員が事業廃止したことについて報告がなされた。

続いて、審議事項に移り、以下のとおり協議された。

### 議題1.平成24年度臨時総会の開催

平成24年度臨時総会を12月17日(月)に東京品川のホテルラフォーレで開催することについて提案され、原案どおり承認された。

### 議題2.協会支部会費の設定に関する基本方針

観光庁の指摘を踏まえた協会支部会費の金額設定の基本方針について提案され、原案どおり承認された。

### 第151回理事会

第151回理事会在平成24年10月16日午後1時30分より東京品川のホテルラフォーレ東京で開催された。

二階会長による開会あいさつがなされた後、平成24年度臨時総会の開催、平成25年度(第49回)通常総会の日程等について審議された。主な内容は次のとおり。

### 議題1.平成24年度臨時総会の開催

平成24年度臨時総会を12月17日(月)に東京品川のホテルラフォーレで開催することについて提案され、原案どおり承認された。

### 議題2.平成25年度(第49回)通常総会の開催

平成25年度通常総会を6月17日(月)に東京品川のホテルラフォーレで開催することについて提案され、原案どおり承認された。

### 議題3.地域限定旅行業の創設に伴う協会入会金及び会費の設定

観光庁が着地型旅行促進のために予定している地域限定

旅行業の創設に伴う協会入会金及び会費の設定について提案され、原案どおり承認された。

### 議題4.協会支部会費の設定に関する基本方針

観光庁の指摘を踏まえた協会支部会費の金額設定の基本方針について提案され、原案どおり承認された。

### 議題5.理事の補充選任

明神勲生前常務理事の逝去に伴い、四国地方協議会議長(高知県支部長である山中盛世氏を理事に補充選任することが提案され、原案どおり承認された。

### 議題6.会員の除名

5月14日開催の第222回常務理事会で会費未納に伴う退会勧告が決議された1会員について、所属支部からの除名申請を受けて、会員の除名が提案され、定款第16条第1項第4号の規定に基づき、平成24年10月16日付で除名とすることが承認された。

協議終了後、報告事項に入り、一般社団法人移行に係る認

可申請の状況、平成24年度国内旅行業務取扱管理者試験の実施状況、ANTA東北観光博応援ツアー「実施の状況」、「2012麗水世界博覧会」への当協会の取組み、日中国交正常化40周年記念事業「弘法大師・空海を偲ぶ日中交流使節団」への当協会の取組み、第9回国内観光活性化フォーラムin群馬の開催のための準備状況について、報告された。

### 第227回常務理事会

第227回常務理事会が平成24年11月15日正午より当協会本部会議室で開催された。

徳永副会長による開会挨拶がなされた後、報告事項に入り、本部事務局、地方協議会、委員会、(株)全旅よりそれぞれ報告がなされた。

本部事務局報告では、12月17日に開催予定の平成24年度臨時総会開催までのスケジュール、ツアー登山の安全確保の周知及び当協会とJATA、日本山岳ガイド協会によるツアー登山三者連絡会の開催などが報告された。地方協議会報告では、各協議会における会議の開催内容及び最近の活動状況等について報告された。

委員会報告では各委員長より、以下のとおり活動報告がな



第151回理事会

された。

〔試験研修委員会〕10月30日開催…①試験研修実務小委員会委員の選考、②平成25年度試験研修事業計画骨子

〔苦情弁済委員会〕10月1日開催…①苦情対応勉強会の開催概要(案)、②平成25年度版苦情対応セミナーテキストの作成

〔指導調査広報委員会〕10月11日開催…①平成25年度協会ボスターの作成、②平成24年度下期地域広報ボスター(栃木、群馬版)の作成、③送客安全セミナーの開催に向けた準備会の検討、④全国統一観光検定の実施に向けた準備会設置の検討

〔経営推進委員会〕9月21日開催…①第9回国内観光活性化フォーラム(平成25年1月)の開催、②第10回国内観光活性化フォーラムの開催候補地、③重大事故支援システム

〔総務財務委員会〕10月2日開催…①一般社団法人移行に向けた今後の検討の進め方、②一般社団法人の移行に当たっての今後の検討事項(案)

〔一般社団法人移行特別委員会〕11月14日開催…①一般社団法人

移行後の協会支部の運営委員数(案)、②支部職員の配置案、③一般社団法人移行後の協会支部会費(案)

〔株)全旅報告〕第9回国内観光活性化フォーラムへの協力について説明された。

続いて、協議事項に移り、以下のとおり協議された。

### 議題.平成25年度事業計画の骨子(案)

平成25年度事業計画骨子(案)が各委員会より提案されたことが説明され、原案どおり承認された。

続いて、審議事項に入り、以下のとおり協議された。

### 議題1.平成25年度協会支部会費(案)

12月17日の臨時総会に提出する一般社団法人移行後の協会支部会費(案)について提案され、原案どおり承認された。

### 議題2.一般社団法人移行後の協会支部事務局体制(案)

一般社団法人移行後の協会支部事務局体制について提案され、原案どおり承認された。

### 議題3.第10回国内観光活性化フォーラムの開催(案)

近畿地方協議会より第10回国内観光活性化フォーラムを和歌山で開催することの申請について説明され、原案どおり承認された。



第227回常務理事会

議題4.新規入会申込者  
新規入会申込者として、条件なし入会2支部3社、条件付

き入会12支部22社の入会審議がなされ、各申請者の入会が承認された。



## 平成24年度国内旅行業務取扱管理者試験実施結果 5534名が国内管理者資格を取得、合格率は36.8%

当協会が観光庁長官試験事務代行機関として平成24年9月9日(日)全国9地域12会場で実施した国内旅行業務取扱管理者試験の合格発表が10月25日(木)に行われた。

本年度の国家試験は、受験申込者1万7020名(一般受験申込者1万5749名、一部免除申込者1271名)で、試験当日の受験者が1万5042名(一般受験者1万3808名、一部免除者1234名)となり、このうち合格者は5534名(一般受験合格者4916名、一部免除合格者618名)となった。

合格率は全体で36.8%(一般受験合格率35.6%、一部免除合格率50.1%)となり、昨年度に比べ0.9ポイント上回る結果となった。



大阪府・関西大会会場

### 平成24年度 国家試験 実施結果

| 試験地  | 区分  | 申込者(人) | 受験者(人) | 合格者(人) | 合格率(%) |
|------|-----|--------|--------|--------|--------|
| 北海道  | 一般  | 672    | 619    | 203    | 32.8   |
|      | 免除  | 60     | 57     | 36     | 63.2   |
|      | 計   | 732    | 676    | 239    | 35.4   |
| 宮城県  | 一般  | 770    | 672    | 236    | 35.1   |
|      | 免除  | 70     | 69     | 36     | 52.2   |
|      | 計   | 840    | 741    | 272    | 36.7   |
| 埼玉県  | 一般  | 1,120  | 985    | 311    | 31.6   |
|      | 免除  | 113    | 111    | 47     | 42.3   |
|      | 計   | 1,233  | 1,096  | 358    | 32.7   |
| 東京都  | 一般  | 6,305  | 5,497  | 2,075  | 37.7   |
|      | 免除  | 500    | 481    | 229    | 47.6   |
|      | 計   | 6,805  | 5,978  | 2,304  | 38.5   |
| 愛知県  | 一般  | 1,580  | 1,398  | 523    | 37.4   |
|      | 免除  | 149    | 145    | 76     | 52.4   |
|      | 計   | 1,729  | 1,543  | 599    | 38.8   |
| 大阪府  | 一般  | 3,061  | 2,679  | 970    | 36.2   |
|      | 免除  | 217    | 213    | 114    | 53.5   |
|      | 計   | 3,278  | 2,892  | 1,084  | 37.5   |
| 岡山県  | 一般  | 590    | 499    | 174    | 34.9   |
|      | 免除  | 64     | 61     | 28     | 45.9   |
|      | 計   | 654    | 560    | 202    | 36.1   |
| 福岡県  | 一般  | 1,476  | 1,309  | 388    | 29.6   |
|      | 免除  | 88     | 88     | 46     | 52.3   |
|      | 計   | 1,564  | 1,397  | 434    | 31.1   |
| 沖縄県  | 一般  | 175    | 150    | 36     | 24.0   |
|      | 免除  | 10     | 9      | 6      | 66.7   |
|      | 計   | 185    | 159    | 42     | 26.4   |
| 全国集計 | 一般  | 15,749 | 13,808 | 4,916  | 35.6   |
|      | 免除  | 1,271  | 1,234  | 618    | 50.1   |
|      | 総合計 | 17,020 | 15,042 | 5,534  | 36.8   |

## 全旅協観光復興支援ポスター 「ようこそ、中国・四国！ 元気な日本へ！」 ポスター掲出ご協力をお願い



当協会では、平成23年3月に発生した東日本大震災による風評被害で大きな影響を受けている東北・東日本地域の観光復興を支援するために、観光庁のご後援をいただき、前年に引き続き、平成24年11月より1年間の予定で「東北・東日本観光復興支援キャンペーン」として風評被害の払拭、東北・東日本への送客支援等と呼びかける支援活動に取り組んでいる。

このような中、当協会では、東日本大震災からの国内観光の復興・日本各地の観光振興を支援するため、今般、新たに「地旅」で出会う日本の笑顔

「石見神楽」、岡山県「桃太郎」、広島県「やっさ踊り」、山口県「先帝祭」、徳島県「阿波踊り」、香川県「こんびら舟々」、愛媛県「宇和島牛鬼まつり」、高知県「よさこい鳴子踊り」である。

本ポスターは、平成23年9月に制作した東北・東日本各地の主な祭りをデザインしたポスターに続く第二弾となる。日本各地の魅力を「地旅」を通じて体験し、元気な日本を取り戻すとともに、あわせて当協会の東北・東日本観光復興キャンペーンを紹介し、現在東北各県で開催中の東北観光博への来訪促進を呼びかけるものである。

今回のポスターに描かれた中国・四国の祭り等は、鳥根県「しゃんしゃん祭り」、鳥根県「しゃんしゃん祭り」、鳥根県「しゃんしゃん祭り」。

観光復興の幅広いアピールとして店頭等における掲出にご協力をお願いします。

## 全国観光地所在町村協議会総会の開催



二階会長による来賓あいさつ

全国観光地所在町村協議会(会長・吉田秀光鳥取県三朝町長)の総会が、平成24年11月22

日(木)に東京都千代田区の全国町村会館にて開催され、100名を超える全国の町村長及び関係者が出席した。

当日の会議は、吉田会長による冒頭あいさつがなされたの続き、来賓として当協会の二階俊博会長よりあいさつがなされた。引き続き、観光庁の志村格観光庁次長より「観光立国に関する最近の動向と取組」について講演が行われた。

総会に提出された「観光振興に関する意見書」の決議がなされ、質疑応答において福島県か

## 第27回日韓観光振興協議会が函館市にて開催

第27回日韓観光振興協議会が平成24年10月29日(月)に北海道函館市の函館国際ホテルで開催された。

この協議会は、日韓の観光当局が日韓の観光交流人口の拡大と観光分野での連携の強化を目的に昭和61年より毎年開催されているもので、今回が第27回目となる。

代表は日本側が観光庁の加藤隆司審議官、韓国側は韓国文化体育観光部の慎庸彦観光産業局長が務め、両国の政府・旅行・観光業界から約60名が出席した。

今回の会合では、両国それぞれの立場から「地方観光の活性化を中心とした日韓観光交流の促進」に関する取組み状況等について報告され、日韓の観光交流促進に関する諸課題等について意見交換が行われた。

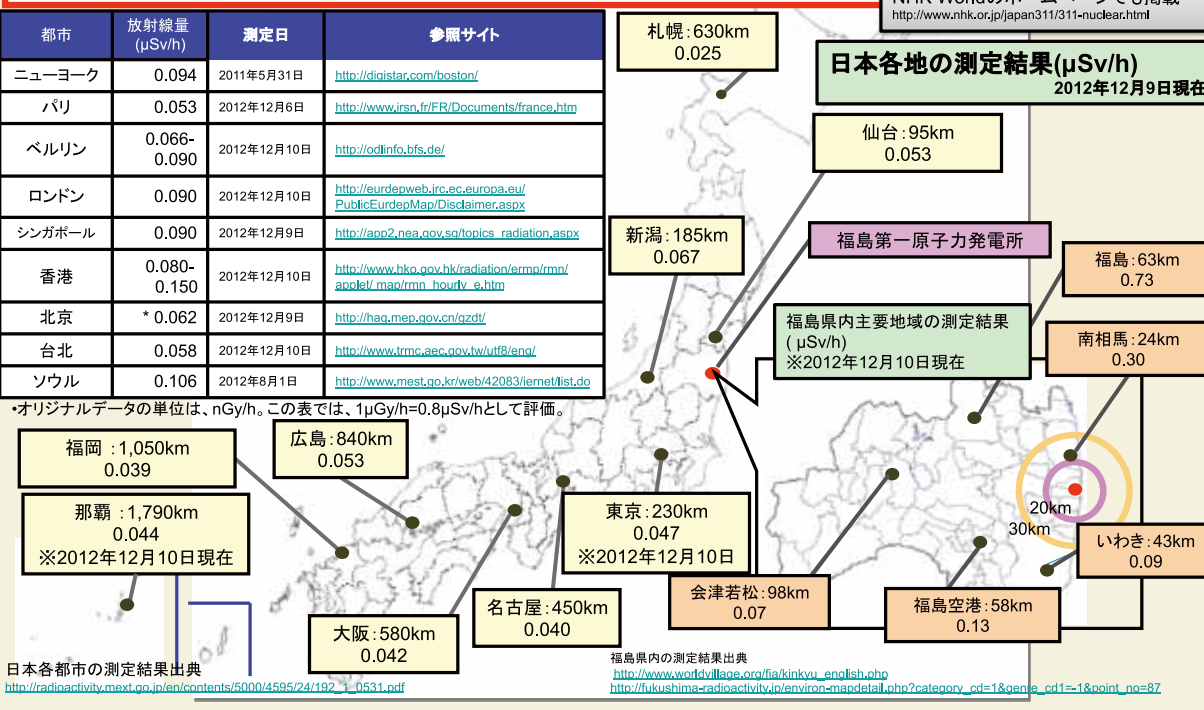
両国観光当局間での主な合意内容は、①2013年の日韓間の交流人口の目標は700万人、②日韓観光交流促進に向け協力するとともに、日韓間をとりまく諸課題の状況であるが、観光交流は原則としてそれ

ら出席した町長より、福島県の地域全体が原発事故に伴う風評被害による深刻な状況が現在も続いているため、放射線量等の正確な情報の発信について協力してほしいとの要請がなされ、二階会長より、本誌に掲載し、全国5600社のANTAA会員をはじめ、広く関係者に周知したいと回答された。

とが望ましいことについて認識の共有、③自然災害、疾病等の観光へのリスクが考えられる危機的状況が発生した場合での風評被害対策も含めた相互の協力、④2013年を「日韓地方観光交流元年」として、地方観光交流の拡大に向けた日韓両国での積極的な活動、の4策が取り交わされた。

## 放射線量等の情報の発信について

○日本政府観光局(JNTO)のホームページにおいて、英語、ハングル、中国語(簡体字)、中国語(繁体字)の4言語で掲載。(http://www.jnto.go.jp/eq/eng/04\_recovery.htm)



資料提供: 観光庁、JNTO



## 観光庁がツアー登山の安全確保の通達を发出 ツアー登山に関する緊急アンケートを実施

中国河北省張家口市の万里の長城付近で平成24年11月3日に発生した日本人観光客3人が遭難し死亡に至ったツアー登山事故を受け、観光庁より「ツアー登山の安全確保について」（観観産第313号）が11月5日付で发出された。

観光庁では、平成22年3月31日付で「旅行業者が行なうツアー登山の安全確保について」（観観産628号）を发出しており、同通達では、ツアー登山を実施している旅行業者に対し「ツアー登山運行ガイドライン」等の遵守、ツアー登山の企画内容・実施体制・管理体制等について総点検を行い、確認の結果、改善すべき事項があった場合は、速やかに改善すること。また、ツアー登山に参加する旅行者に対して、参加する場合の注意点等について周知を図ることなどを規定している。

このたびの通達では、事故を受け、より一層の安全確保に注意を払い、旅行者の安全に万全を期すことを要請した。

また、本通達と併せて、観光庁は、ANTA・JATAに対しツアー登山の実施状況に関す

る緊急調査を依頼した。当協会においては、ANTA・ユースメール及び既に把握しているツアー登山を実施する会員に緊急アンケートを実施した。

なお、当協会では、平成21年7月に北海道トムラウシ山にてツアー登山に参加した旅行者7名と山岳ガイド1名が死亡した遭難事故の発生を受け、当協会とJATAが共同で設置した「旅行業ツアー登山協議会」で検討を行い、「ツアー登山運行ガイドライン」を作成、配付を行った。また、指導調査広報委員会での協議をもとに、旅行業者向け「ツアー登山ハンドブック」、消費者向け「山を歩こう ツアー登山の手引き」などを掲載している。

当協会ホームページでは、ツアー登山に関する専用ページを設けており、各通達のほか、「ツアー登山運行ガイドライン」や旅行業者向け「ツアー登山ハンドブック」及び消費者向け「山を歩こう ツアー登山の手引き」などを掲載している。

ドライン等（当協会ホームページ）  
http://www.anta.or.jp/law/tourtozan.html

「参考掲載・旅行業者が行うツアー登山の安全確保について」  
1. ツアー登山の企画内容等の確認及び旅行業者の実施体制・管理体制の確認  
（1）ツアー登山運行ガイドライン」等の遵守

ア. ツアー登山を行う旅行業者は「ツアー登山運行ガイドライン」及び関係法令や関係官署からの指導等を遵守し安全確保に努めること。

イ. 緊急時には適切な対応を行えるよう、従業員やツアーに同行するガイドに対する研修等を通じて必要な情報提供や情報の共有を図ること。

（2）ツアー登山の企画内容の点検と確認

ア. 実施を予定するすべてのツアーについて、登山道、山小屋等の利用予定施設、避難ルート、緊急時の連絡手段の確保、必要な装備品の内

容等について点検・確認を行うこと。

イ. 点検を行うにあたっては現地確認を基本としつつ、あわせて関係機関等からの情報収集を行うこと。

ウ. 一時避難を目的にした公共施設として登山者に開放されている避難小屋の利用にあたっては、施設の性格に配慮し、設置者の指示に従うこと。

エ. 点検の結果、ツアーの日程・行程等に問題があると認められる場合は、募集前に改善を行うこと。

（3）登山ツアーの実施にあたって

ア. 参加者募集にあたって使用するパンフレット等の記載にあたっては、旅行業法に規定する内容に加え、各ツアーごとに技術的・体力的な難易度、行程中の所要時間、必要な装備品等について具体的に記載すること。

イ. 夏山でも低体温症の危険があること等、目的地の特性に応じた危険情報を周知すること。

ウ. 社員以外の山岳ガイドが同行する場合には、保有する資格、登山に関する知識や技術、目的地でのガイド

経験等について事前に把握し、目的地の特性に応じたガイドを選定すること。

（4）登山ツアーの管理体制について

ア. 天候悪化等に伴う危険回避のための判断基準、添乗員（Ⅱ旅程管理者、以下同じ）や山岳ガイド等の引率者がいる場合の指揮命令系統・役割分担等について定めること等により、引率者が安全性を優先した判断を行うよう徹底すること。

イ. 緊急時の連絡や代替サービスの手配を円滑に行うために、ツアーごとに担当の営業所を定めること等により支援体制を整えること。

### 2. 旅行者への意識啓発

ツアー登山の安全を確保するためには、ツアー登山を企画・実施する旅行業者の意識を高め、ツアー登山の実施体制・管理体制を徹底させるのはもちろんであるが、旅行者の意識啓発の必要性も指摘されているところである。

については、登山ツアーに参加する旅行者に対し、別添によりツアー登山に参加する場合の注意点等について事前の周知に努めること。

## 二階会長のブルネイ・ダルサラーム国よりの叙勲授与を祝う会

当協会の二階俊博会長は、長年にわたるブルネイ・ダルサラーム国（以下ブルネイ）との友好親善に努めた功績が認められ、平成24年7月15日、ブルネイ国王ハナサルボルキア国王より「パドゥカス・リライラ栄誉章」を親授された。

これを祝し、11月12日の夕刻、千代田区の日比谷松本楼にて、各界有志が発起人となり、叙勲を祝う会が盛大に開催された。

祝う会は、発起人代表として御手洗富士夫前経団連会長が冒頭挨拶を、また、大島理森前自民党副総裁、ハジ・マムード・ブルネイ国日本全権大使、元プロ野



球選手・監督の王貞治氏、テレビキャスターのみのもんた氏他の来賓が祝辞を述べた。これに対し、二階会長より「今回の叙勲は大変光栄であり、この度の会では、私が考えてもみなかった多くの先輩や友人の皆様からの激励を頂きました。今後ともブルネイとの友好親善のために微力を捧げることを誓い、感謝の気持ちとさせて頂きます。」とお礼の言葉が述べられた。

当日は300名を超える各界からの来賓が祝いに駆けつけ、日比谷公園内にある会場は大いに賑わった。

## 地域伝統芸能全国大会

## 「ふるさとの祭り2012 in ふくしま」開催 ANTAブースを出展、観光復興支援活動をPR



ふるさとの祭り2012（郡山会場）

郡山会場（郡山市民文化センター）、郡山駅前エリア、会津総合会場（会津総合運動公園）で開催され、両会場は6万2千人を超える多くの来場者で賑わった。

全国に伝えた。当日は、県内、県外、外国から68団体、約1300人が出演し、勇壮で華麗な日本と海外の祭りを披露した。開催地の福島県をはじめ、岩手県、宮城県など東北の被災地からも伝統芸能団体が出演し、復興への願いを込めた伝統芸能の上演に大きな拍手が送られた。

当協会は、同大会の実行委員会メンバーとして参画しており、郡山会場の観光情報コーナーにブースを出展し、全旅協観光復興支援ポスターを掲出して東北・東日本観光復興キャンペーンを紹介するとともに、来場者に対して、ポスターとチラシを配布し、当協会の活動をPRした。次回の全国大会は、石川県で開催される予定。

ふるさとの祭り2012実行委員会・同地方実行委員会、（財）地域伝統芸能活用センターの主催による地域伝統芸能全国大会「ふるさとの祭り2012 in ふくしま」が、10月27日（土）28日（日）の両日、福島県の

テーマに、被災により一時中断を余儀なくされた伝統芸能の再開などを通じて復興に向けた歩みを続ける地域の姿と、魅力あふれるふるさとの良さを

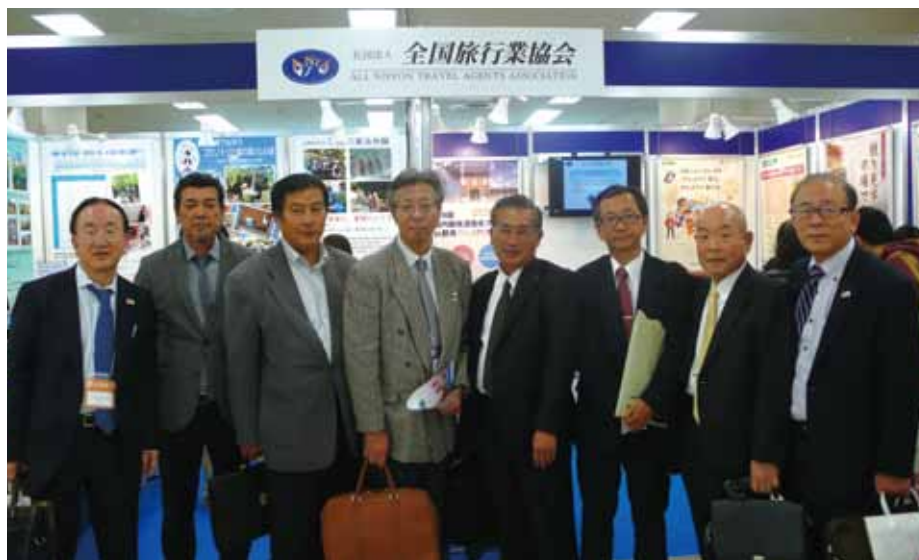


当協会ブースでは全旅協観光復興支援活動をPR



## 「旅フェア日本2012」に ANTAブースを出展

(社)日本観光振興協会(JTAA)の主催による「旅フェア日本2012」が11月9日(金)～11日(日)の3日間、東京都豊島区の池袋サンシャインシティをメイン会場として開催された。3日間のメイン会場への来



指導調査広報委員会による全旅協ブースの視察

場者は、9万3099人に達した。当協会は今回もブースを出展した。

同イベントは、旅の情報発信だけでなく五感に訴える体験型イベントをコンセプトとし、メイン会場では6つのテーマエリアを設定し、また、東京都内の主要駅や各自治体のふるさとアンテナショップをサテライト会場とした。

当協会ブースでは、指導調査広報委員会で検討し新たに制作した協会案内映像や、全旅協復興支援ポスター、1月23・24日に開催される「第9回国内観光活性化フォーラム in 群馬」など当協会制作のポスターの掲示をはじめ、9月9日に実施された国内旅行業務取扱試験の模様のパネルなどを展示した。

また、11月3日に中国の万里の長城付近で日本人観光客の遭難事故が発生したことを踏まえ、当協会作成の「ツアー登山の手引き」などを来場者へ配布し、ツアー登山に対する安全意識の向上を呼びかけた。また、国内旅行に関するアンケート調査を実施した。



## 栃木・群馬観光PRポスターを制作

当協会では、災害による風評被害の払拭や送客支援等と呼び掛ける活動に取り組んでいる。

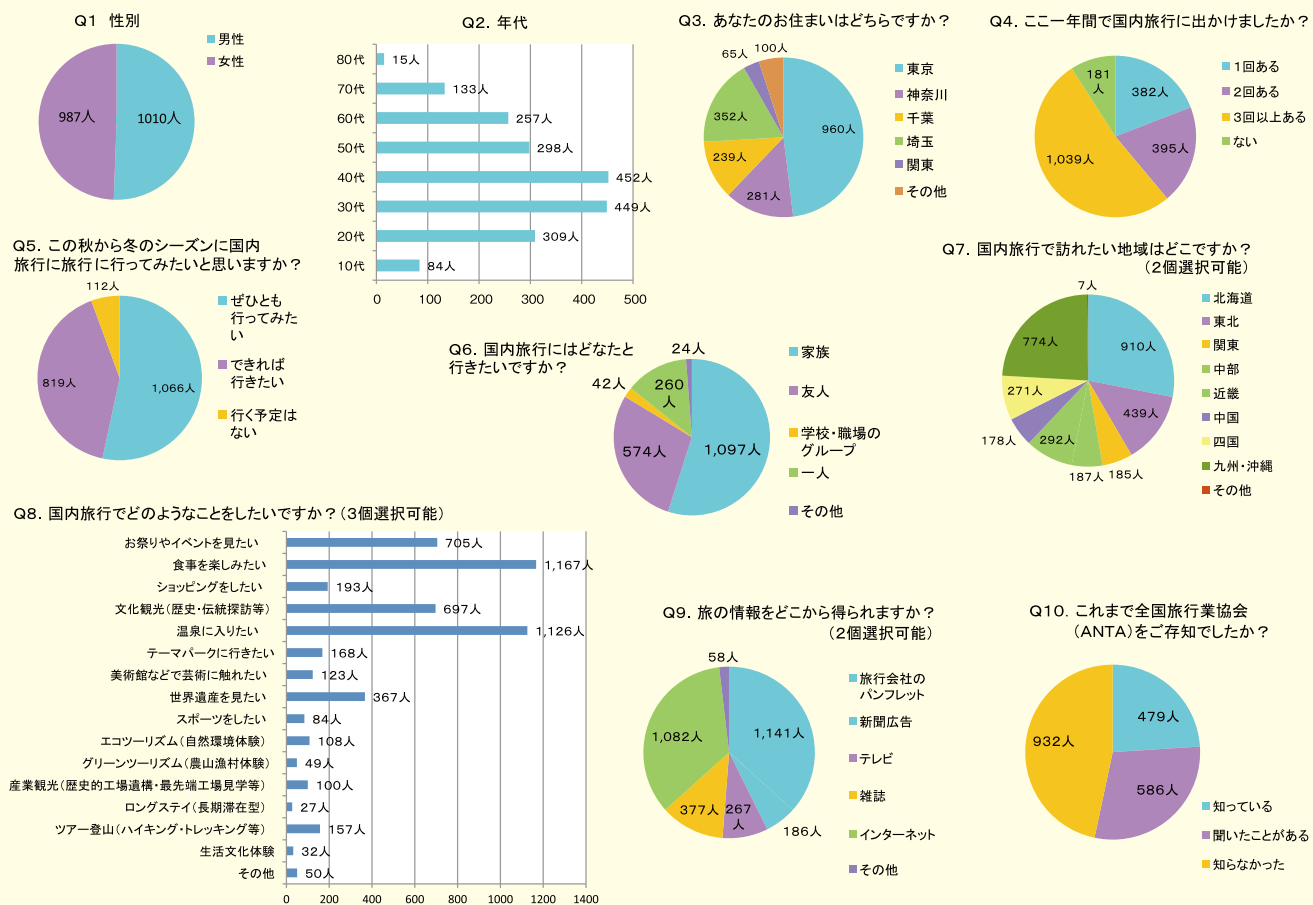
この広報活動の一環として、平成23年9月の台風12号による豪雨災害で、和歌山・奈良・三重の広範囲に渡り大きな被害を受けたことから「紀伊半島・元氣メッセ・ジポスター」を制作、また、平成24年6月には、震災により被害を受けた千葉県・茨城県を選定し、「千葉・茨城観光PRポスター」を展開してきた。

このたびのポスターは、指導調査広報委員会の決議に基づき、北関東地域の震災以降続く風評被害の払拭と1月23日に開催される第9回国内観光活性化フォーラム in 群馬を広く周知するため、栃木県・群馬県を選定し、観光PRポスターとして制作したものである。

本ポスターは、観光関係の政府機関、各自治体、観光団体等に1万枚の配布を行った。また、当協会会員へは、本誌の発送に伴って同封し配布した。

## 「旅フェア日本2012」における国内旅行に関する意識調査の概要

当協会では、平成24年11月9日(日)～11日(火)開催の「旅フェア日本2012」にブースを出展し、来場者に対して国内旅行に関するアンケート調査を行った。来場者1997人よりアンケートの回答が得られ、集計結果は以下のとおりとなった。



バス添乗実習・緊急時脱出訓練(大阪市会場)

## 平成24年度国内旅程管理研修 11月に全国7会場で実施

当協会は、本年度の国内旅程管理研修を平成24年11月27日(火)・28日(水)に、札幌市・仙台市・さいたま市・東京都・名古屋市・大阪市・岡山市の7会場で実施した。

受講者は旅行業法・旅行業約款・実習を含む国内旅程管理業務の各科目を受講した後、修了テストを受験した。

受講申込者数は126名(会員107名、会員外19名)となり、修了テスト受験者数は121名(会員102名、会員外19名)であった。

## ANTA主催 第1回苦情対応勉強会 2月6日に東京で開催予定

当協会は、旅行者からの苦情が発生した場合に、旅行業者としてどのような対応をするべきかを習得することを目的として、第1回苦情対応勉強会を平成25年2月6日(水)に東京都千代田区のフクラシア東京ステーションにて実施する。

今回は「え！間違った対応していませんか？」をメインテーマとして、苦情発生の防止を図るため、苦情事例を検証するも

ので、本年度より新たに独自の内容で実施する当協会主催の勉強会となる。

講師は、中川宜和苦情弁済委員(奈良県支部長)及び山本厚弁護士が担当する。

当日の勉強会は、第一部では、中川講師による「現状報告」「苦情対応の流れと留意点」「苦情対応に当たっての基本」「苦情対応の実践編」、山本講師による「最近の旅行業法事例・解釈での注意点」

について、続いて第二部では、中川講師による「会員会社から良くある質問15」について、それぞれ具体的な内容・事例を中心とした講義が行われる予定。

開催時間は、13時30分～16時30分、参加費は無料。定員は100名を予定している。

受講申込方法等の詳細については、当協会ホームページを参照のこと。

■本件に関する問合せ先  
(社)全国旅行業協会  
TEL 03・5401・9900  
URL <http://www.anta.or.jp>



大洋州地域におけるICTサービスの拠点となることを目指す「Japan-Pacific ICTセンター」。  
多目的講堂やコンピューター室、IT起業スペースなどが入っている



## 衛星通信を活用し大洋州全域に教育やビジネスのネットワークを構築

大洋州地域では、その地理的な条件から域内で協力して遠隔での高等教育を推進している。  
今後は教育に加え、ICT（情報通信技術）サービスでも地域の拠点となることを目指すべく、JICAは支援を続けていく。

オンライン学習管理システムを使って勉強するトンガ分校の学生たち



USPネットを通して情報を送信するパラボナアンテナ。左が当初から使われているもので、右がほぼ同じ機能でコストが安い最新型

1969年、大洋州地域の12カ国により設立された「南太平洋大学（USP）」。



けられる本校と比べると、分校は一方通行の指導になってしまっていた。そこで98年、日本の無償資金協力により、衛星通信を使った「遠隔

教育ネットワーク（USPネット）」を構築。分校で、本校での講義の映像を受信し、パソコンやテレビを介して講義を受けられるようになり、また音声でのやりとりもできるため、疑問があればその場で質問できるようにもなった。その後JICAは、2002～05年に「南太平洋大学ICTキャパシティビルディングプロジェクト」を実施中だ。USPの学生が増えたことで全体の約半分が分校に通うようになったものの、USPネットのデータ送信システムが旧式で通信量の増加に対応しきれず、分校に全科目の講義を配信できていないという校舎間での教育格差が生まれている。そこで、本校でも分校でも生徒全員が一定の質の教育を受けられるようにするため、トンガやバヌアツ、ソロモン諸島などの島々では、最新の送受信機器の導入を進めている。また分校においても、USPネットやインターネットを通じていつでも教員に質問できたり、学生同士でリアルタイムにディスカッションを行える「オンライン学習管理システム」の利便性を高めることで遠隔教育の学習環境のさらなる向上に取り組んでいる。

## 青年海外協力隊の発案で古川宇宙飛行士と交信！

USPを舞台に、2011年10月14日、「大洋州初」ともいべきイベントが開催された。青年海外協力隊（理数科教師）の池田知世隊員が中心となり、当時、国際宇宙ステーションに長期滞在していた古川聡宇宙飛行士と、池田隊員が活動するフィジーのスパサンガム高校の生徒、さらにUSPの学生が衛星通信を使って交流したのだ。

実は6月のフィジー赴任直後から準備に取り掛かっていた池田隊員。フィジーでは、中学や高校で宇宙について学ぶ機会がほとんどないため、池田隊員が宇宙の成り立ちや天体、また国際宇宙ステーションに関する授業を行い、それを受けて生徒たちは古川宇宙飛行士への質問を考えた。当日は、スパサンガムの生徒、USPの学生、関係者を合わせ90人ほどが参加。生徒たちからは「宇宙ステーションと地球ではどちらが過

しやすいですか？」「ホームシックにかかりましたか？」「どうやってごみを処理しているのですか？」といった質問が投げかけられ、古川宇宙飛行士からの「宇宙のほうが断然快適ですよ」という意外な答えに驚いていたという。「宇宙とつながるという貴重な体験に生徒たちは目を輝かせていました」と池田隊員は話す。



教え子とともにイベントを成功させた池田隊員（右端）。「生徒がこれを機に理数科への関心を高めてくれたら」と期待する

敷地内に「Japan-Pacific ICTセンター」が設立された。遠隔教育の拠点となったUSPに併設することでその技術やノウハウを活用し、このセンターを「ICTサービスのハブ」として大洋州地域の情報通信技術産業を発展

させていくことが目的だ。完成記念式典に出席したフィジーのジョサイア・アウオレンゲ・バイニマラ首相は、「地理的条件から大洋州地域の経済成長にはICTの発展が欠かせない。遠隔教育の実績をビジネスにも役立てたい」と話している。



首都スバ市内のマーケット。野菜や果物が豊富に並ぶ



スバ中心部の繁華街。インド系の店舗も軒を連ねる

地球ギャラリー

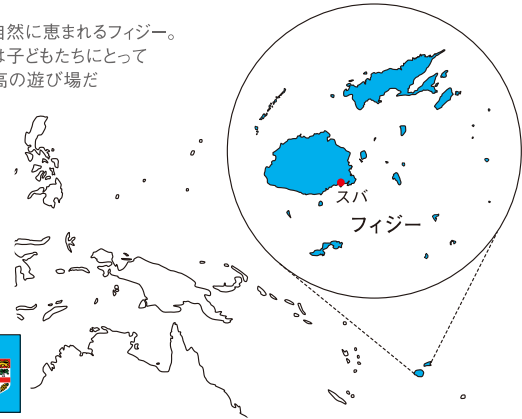
## JICAの活動 in フィジー

詳しくはJICAホームページをご覧ください。  
<http://www.jica.go.jp/publication/j-world/1207/index.html>

写真：今村 健志朗（写真家）

文・写真：高橋 香（青年海外協力隊）

大自然に恵まれるフィジー。海は子どもたちにとって最高の遊び場だ



首都：スバ  
面積：1万8,270km<sup>2</sup>（四国とほぼ同じ大きさ）  
人口：約85万4,000人（2010年）  
言語：英語のほか、フィジー語、ヒンディー語  
宗教：キリスト教（フィジー系）、ヒンズー教・イスラム教（インド系）  
1人当たり国民総所得（GNI）：3,610米ドル（2010年）  
経路：直行便はなく、ソウルや香港などでの乗り継ぎが一般的。  
通貨：フィジー・ドル（FJD） 1FJD＝約46.3円（2012年3月現在）  
気候：南半球に位置するため季節は日本とは逆になる。11～2月ごろが最も暑く、6～9月ごろは朝晩に冷え込むことがある。



フィジー系、インド系、イスラム系など、みんな一緒に勉強

## 常夏の笑顔

太平洋に浮かぶ常夏の島、フィジー。ここには、陽気な気候と同じくらい底抜けに明るい人々が暮らしている。楽しいことが大好き。冗談が大好き。食べることが大好き。大人も子どもも幸せそうな表情をしている。「バスがなかなか来なくても大丈夫。そのうち来るから気長に待てばいい」

「雨が降ってきたけど、傘がなくて心配ないよ。きつとそのうちやむだろうから」  
細かいことなど気にしないおおらかな性格も、この気候が作り出している気がする。

「フィジアン（フィジー人）は家族や年長者をととても大切にしている。都市部では核家族化も進んでいるが、村では家族や村人の結び付きが強い。食料がたたくさん手に入ったら、一緒に食べたりおすそ分けをしたりと、「共有」の精神が根付いている。子どもたちが家の仕事や弟妹を世話する姿もよく見かける。村の人々がまるで「一つの家族」であるかのように、助け合い、子どもをかわいがり、年長者を敬っている。

くるんとカールした長いまつげに、吸い込まれそうなくらい大きな瞳をした子どもたち。木登りをしたり、川で泳いだり、エネルギーで生命力にあふれている。自然の中に子どもたちの遊び場がいっぱいだ。まゆをピクッと上げるのは「I o（Yes）」の意



「今を楽しんで生きる」これがフィジアンライフだ。この国には魅力あふれる自然がたくさんあるが、何よりも魅力的なのはフィジーで暮らしている人々だ。幸せな顔を見ていると、こちらも幸せな気持ちになる。

公用語は英語だが、街のあちこちでフィジー語やヒンディー語を耳にする。学校でもフィジー系、インド系、イスラム系といったさまざまな文化の子どもたちが一緒に勉強をしている。言葉、食べ物、服装など、多くの面でそれぞれの特徴が混ざり合い、現在のフィジー文化が出来上がっている。





富田 英毅（とみた ひでき）

昭和42年（株）日本旅行入社。営業部門を経て、法務関係業務に従事。その間、JATA広告等適正化部会部長を歴任。旅行業公正取引協議会 元事務局次長。兵庫県姫路市出身。

## 第92回

適正な旅行広告作成のために 富田 英毅

## 取消料

ある旅行業者の国内旅行の募集広告を見ていたら、取消料について次のような表示がありました。

## ■取消料

お客様はいつでも次に掲げる取消料を当社に支払って募集型企画旅行契約を解除することができます。

| 区 分                                                                         | 取 消 料       |
|-----------------------------------------------------------------------------|-------------|
| イ. 旅行開始日の前日から起算してさかのぼって20日目（日帰り旅行にあっては10日目）に当たる日以降に解除する場合（口からホまでに掲げる場合を除く。） | 旅行代金の20%以内  |
| ロ. 旅行開始日の前日から起算してさかのぼって7日目に当たる日以降に解除する場合（ハからホまでに掲げる場合を除く。）                  | 旅行代金の30%以内  |
| ハ. 旅行開始日の前日に解除する場合                                                          | 旅行代金の40%以内  |
| ニ. 旅行開始当日に解除する場合（ホに掲げる場合を除く。）                                               | 旅行代金の50%以内  |
| ホ. 旅行開始後の解除又は無連絡不参加の場合                                                      | 旅行代金の100%以内 |

募集広告では、取消料について必ずしも表示の義務付けはありませんが、表示したからといって間違いになる訳ではありません。

旅行契約が成立した後で、お客様が都合により旅行契約を解除する場合、取消料の支払いを要するケースがあることを、あらかじめ承知してもらうために表示しているものと考えられます。

上記の取消料の表の内容は、標準旅行業約款の別表第一をそのまま転記したのですが、一つ問題があります。

それは、標準旅行業約款は、当該旅行業者が実施するすべての募集型企画旅行に適用されるので、取消料の率は「旅行代金の20%以内」とか「旅行代金の30%以内」と幅のあるものになっています。

旅行業者が特定の旅行について募集広告を作成する場合は、適用する取消料の率を標準旅行業約款の定める範囲内の率で「旅行代金の20%」とか「旅行代金の15%」と 特定する必要があります。

なぜならば、「旅行代金の20%以内」では実際にお客様から旅行契約が解除された場合に、収受する取消料の額を特定することができないからです。

取消料を収受する期間を標準旅行業約款より遅くすることは、問題ありません。

例えば、「最高で旅行代金の20%」となる取消料を収受する期間について、「旅行開始日の前日から起算して20日目に当たる日以降」を「旅行開始日の前日から起算して15日目に当たる日以降」とする場合です。

このように標準旅行業約款とは異なった内容の契約条項を特約といいます。が、「特約」はお客様に有利な範囲内のものであれば、標準旅行業約款に優先して適用されます。

逆に、取消料を収受する期間を早くすることは、お客様にとっては不利な範囲内のものとなり有効なものとはなりません。

なお、取消料の率を「15%」と特定することは、一見特約のように思えますが、「20%以内」を逸脱したものではないので特約ではありません。

私は、10月24日、東京で開催されたANTA・JATA共催の苦情対応セミナーに参加しました。

当日、会場で配布された資料によると、平成23年度にJATA本部に寄せられたお客様と旅行業者の間のトラブル(3388件)の内、取消料に係るものが761件と第1位を占めています。

この結果は、平成23年度に限ったものではなく、例年、同じ結果が出ています。トラブルの中身は、お客様の取消料についての認識不足によるものもありますが、旅行業者の間違った請求に起因するものが少なからずあります。

私が在職中に、現場から受けた相談に「お客様から国内旅行の申し込みがあり、OKの回答をした後、申込書を受け取ったが、旅行開始日の10日前になっても旅行代金の支払いがないので、催促したところ旅行に行けなくなったとのことである。そこで取消料を請求したのだが、お客様は取消料を支払ってくれない。旅行契約は成立しているので、請求することは、問題ないと思うが。」というものがあります。この類の質問は、毎年2〜3件ありました。

この相談を受けて、私が相談者に確認することは、申込金を受け取っているかどうかということです。募集型企画旅行契約の成立要件は、旅行業者の承諾と申込金の受理となります。申込金を受理していない限り、旅行契約は成立しておりません。旅行契約が成立していなければ、取消料が発生する余地はありません。

間違った取消料の請求は、会社の信用を大きく損なうものとなります。常に、旅行業約款の正しい理解に努める必要があると考えられます。

## はとバス

東京観光はもちろんバスツアーならお任せください。

黄色いカラーでお馴染みのはとバスは、東京都内や横浜を中心に「ご案内する『定期観光バス』をはじめ、関東近郊の日帰り・宿泊といった『募集型企画旅行』、お客様の『希望に合わせた『貸切観光バス』まで、幅広く旅のお手伝いを致しております。

「定期観光バス」昼コースでは、浅草や東京タワーなどの代表的名所は勿論の事、次々出現する新名所をご案内、夜コースでは、一流のお食事を召し上がって頂いた後、普段見ることのできない夜の魅惑スポットをご案内致します。バラエティに富んだ様々なコースを取り揃えてお待ちしております。



ハイブリッドバス



特殊車両「はとまるくん」



3列シート化艗室付き「ピアノシモⅡ」



楽しい旅へご案内します



最新鋭車両

## 神奈川県・横浜中華街

元国家主席専属料理人を務めた王 永祥シェフらが腕をふるう「廣翔記」が、  
「日50組限定の（豪華フカヒレ極みコース）4,980円で大奉仕」  
フカヒレ専門店 廣翔記 新館

中国元国家主席・江沢民氏専属料理人を務めた王 永祥シェフらが腕をふるう「廣翔記」がご提供する、素材に拘り、スープに拘り、主席専用レシピに拘ったコラーゲンたっぷりのフカヒレ料理は横浜中華街で話題沸騰！ただいま「日50組限定の『豪華フカヒレ極みコース』」を割引価格の4,980円で大奉仕中！お伝えしたい美味しさが此処にあります。



総料理長王永祥シェフは中国元国家主席・江沢民氏の専属料理人としても勤務！



大切な人と過ごすひとときを！



話題の「フカヒレ極みコース」は極上フカヒレ姿煮1人1枚 約90gが付きます！



廣翔記新館は巨大なフカヒレの看板が目印！



ウッドデッキの席から蘇州小道の風景を一望！

「施設内容」全館200席、エレベーター完備、各種個室完備、大小宴会対応可能（蘇州小道が一望できるウッドデッキは人気！）  
「お料理」フカヒレ刺身、約90gフカヒレ姿煮1人1枚、北京ダック、アビ、ソバメの巣など12品  
■営業時間・11時〜22時30分（LO22時）年中無休、年末年始営業。  
■交通のご案内・みなとみらい線元町中華街駅3番出口 徒歩1分 京浜東北線石川町駅北口徒歩8分  
■住所 〒231-0023 横浜市中区山下町97番地1 石屋ビル1・2F  
TEL 0120(660)168  
FAX 045(680)5818  
WEB <http://koushouki.jp>





あなたの手で

世界遺産を汚せますか!?



「あなたの手で世界遺産を汚せますか」…  
これは、岐阜県の世界遺産白川郷の荻町集落にある総合案内所「での館」入り口に掲げてある看板です。(下記写真参照)



白川郷と五箇山が世界遺産になり17年経ちましたが、現在、多くの問題を抱えています。  
それは、この土地特有の問題だけではなく、われわれ旅行者がお世話する観光客とも大きく関わっています。  
確実に集客が期待できる世界遺産だからこそ、我々旅行業界の人間ももう一度考え直して見る必要があるのではないのでしょうか。  
今回は、この白川郷・五箇山の合掌造り集落を取り上げてみます。

白川郷・五箇山の合掌造り集落が世界遺産に登録されたのは1995年、登録基準は以下の2つです。

- ①合掌造りの家屋は、日本の農村の民家として、規模・構成ともに独特な特徴を持ち、その集落の景観が見事であること。
- ②伝統的な生活様式が、それをとりまく環境と社会機能に完璧に適合した非常に優れた例であること。

この2つの内容を具体的に確認してみます。

〈登録基準①〉

合掌造りの家屋は木材を山形に組み合わせ、急勾配の茅葺き屋根を持ち、一般の日本家屋に比べて大型化し、床面積が広く、天井も高くなっています。

これは、家が住居と作業場を兼ねるために生まれたもので、1階は台所、居間、2階から上は蚕を飼ったり糸紡ぎなどの作業スペースとして、利用されました。  
床下は塩硝(えんしょう=火薬のもと)の生産に使うために巨大な穴が掘ってあります。

この地域は、平地が少ないために、もともと稲作には不向きであり、焼畑でひえや粟、蕎麦などの雑穀を栽培していましたが、自給を補う程度のものでした。

その代わりに盛んになったものが、養蚕製糸や塩硝の生産であり、雪深い田舎の土地において、現金収入を得られる貴重な手段でした。1階には囲炉裏があり、ここで煮炊きをし、寒いときには暖をとりました。また、薪を焚いたその煙が虫除けになり、家の中についた「すす」が防腐剤の役割を担ってきました。

合掌造りの組み立てには、釘はいっさい使わず、木材は紐で結びます。これは結びの部分に遊びを残すことで、雪の重みや風の強さに耐える構造とし、家全体を柔軟にしました。



〈登録基準②〉

この合掌造り地区の一部では、明治時代まで長男以外の妻帯が許されず(分家により、耕地が細分化できるほど、土地に余裕がなかったため)、ひとつの屋根の下で合わせて数十人が暮らす大家族制で、この大家族制が家内制手工業を成り立たせていました。

屋根の葺き替えは15年～20年に1回行われますが、これは「結＝ユイ」と呼ばれる住民の相互扶助制度による共同作業で行われてきました。

現金収入は乏しくても自給自足で生活し、家を建てるときには住民たちはお互いに労力を出し合っていました。

しかしながら、今ではこの結が成り立たなくなっていると言われています。

地域による差はあるものの、茅葺きの家とそうでない家が混在し、共同作業が成り立たなくなっているのです。

そのため、現在の屋根の葺き替えはボランティアや現地の小・中学生が参加して行うようになってきています。この屋根の葺き替えがボランティアの手により行われているということが世界遺産に推薦されたひとつの理由となっています。

さて、富山県五箇山の相倉合掌造り集落に行くと、「添乗員さん。これをお客様に渡してください。」と案内書を渡されることがあります。

これには相倉地区の説明、地図などが載っていますが、表紙には1ページ全体を使い「観光客の皆様へのご願い」が書かれてあります。

主な内容は以下のとおりです。

季節によって趣きが異なる東京湾を、江戸情緒あふれる屋形船で周遊。お台場やレインボーブリッジ、スカイツリーの夜景など東京を観光するにはぴったりです。隅田川でのお花見や、夏の花火大会はもちろん、オールシーズン各種イベントにもご利用ください。食事は板前がつくる会席料理。2名様から乗船できる乗合船就航、無料送迎バスあり。

「施設内容」スカイデッキ付きの大型船2隻。掘りこたつあり。冷暖房・洋式水洗トイレ・毎月データ更新している通信カラオケ(ペン・ゲームあり)完備。  
「ご予約」貸切船：15名様～70名様(最大140名様可能) 乗合船：2名様～(出船日に限定あり) 出船時間 10時～19時30分

※乗船時間はおおむね2時間半、年中無休  
「お料理」お刺身の盛り合わせ、江戸前天ぷら船中揚げ(海老、穴子、さす、めこ、いか、季節の野菜)、箸付け前菜(3種)、煮物、焼物、香の物、焼物、御飯、デザート  
※乗船時間は、すべて旬のものです。サイドメニューあり、詳細はHPで、飲み物、生・瓶ビール、日本酒(冷・燗)、焼酎、麦・芋、サワー類、ワイン、ウィスキー、ソフトドリンクなど  
「料金」中金グループプラン10,500円(税込)、小町グループプラン13,650円(税込)、大町グループプラン15,750円(税込)、※3プランとも飲み放題つき。松花堂ランチプラン7,350円(税込)(ワンドリンクのみ)「周遊コース」お台場・スカイツリーと隅田川・スカイツリーあり。  
「送迎バス」20名様以上の貸切船へのサービスです。周遊コースと送迎バスの詳細はお問い合わせください。  
■交通のご案内：京浜急行北品川駅下車 徒歩3分  
■JR品川駅下車 徒歩10分  
■住所：〒140-0002 東京都品川区東品川1-11-17  
TEL 03(3471)4531  
FAX 03(3740)4646  
WEB http://www.nakakin.com/



隅田川でのお花見風景



掘りこたつ式の船内



スカイデッキ船



春の品川小町グループプラン



冬の品川中金グループプラン 人気のちゃんこ鍋

中国元国家主席・江沢民氏専属料理人を務めた王 永祥シェフらが腕をふるう「廣翔記」が、「提供」する、素材に拘り、スープに拘り、主席専用レシピに拘ったコラーゲンたっぷりのフカヒレ料理は横浜中華街で話題沸騰!ただいま、50組限定の「豪華フカヒレ極みコース」を割引価格の4,980円で大奉仕中!お伝えしたい美味しさが此処にあります。

「施設内容」全館260席、エレベーター完備、各種個室完備、大小宴会対応可能。  
「お料理」フカヒレ刺身、約90gフカヒレ姿煮(1人1枚)、北京ダック、アワビ、ツバメの巣など12品  
■営業時間：11時～22時30分(10時22分、年中無休、年末年始営業)  
■交通のご案内：横浜市営地下鉄「関内駅」3番出口徒歩30秒 JR根岸線「関内駅」北口徒歩2分  
■住所：〒231-0014 神奈川県横浜市中区常盤町3-24 廣翔記ビル



話題の「フカヒレ極みコース」は極上フカヒレ姿煮1人1枚 約90gが付きます!



外観



2階の中広間5名様～最大28名様までご利用可能です



関内館VIPルームも是非ご利用下さい

TEL 045(680)5858  
FAX 045(680)5818  
WEB http://koushouki.jp  
予約・お問合せ 0120(660)168(全館共通)



前頁より

- ① 集落内は、禁煙をお願いします。
- ② 屋敷内、田畑、あぜ道などの生活範囲へは立ち入らないでください。
- ③ 住民の車が通行するときは、道端に避けていただき道を譲ってください。
- ④ 早朝と夕暮れ以降の見学は、住民の生活を守る為ご遠慮ください。
- ⑤ ゴミ箱はありませんので、持ち帰ってください。

表紙が全て観光客へのお願い…これには違和感を持ちました。  
「世界遺産になり観光客は増えたが、その観光客により観光資源や住民の生活が脅かされる」  
これは多少なりとも、どの世界遺産にもある共通の問題です。白川郷・五箇山の場合、過疎の村が観光地になり村民が現金収入のため、田畑を埋め立てし、お土産屋や駐車場にしてきました。  
また、観光客も観光バスによるツアー客が主体となり、観光客の増大とは逆に、一人当たりの滞在時間や宿泊客が減少しています。一過性観光客の増加です。  
お土産屋や飲食店は売り上げが増えますが、観光客の恩恵を受けない一般住民からは、「観光客は、世界遺産の価値を理解しようとせず、トイレ休憩とゴミ捨てに立ち寄るだけ。」などという厳しい指摘もあると聞きました。



また、観光客の自家用車が生活道路に入り無断駐車をし、かつての物静かな山村ではなくなってきています。白川郷荻町合掌造り集落の本通りは、9時から16時まで大型車両通行禁止になりますが、一般の自家用車は入れるため、住民専用の駐車場に観光客が無断

駐車をして、大きな問題となっているそうです。本通りに面した一般駐車場の管理人の方にお伺いしたところ、「できればマイカーは遠慮してほしいのですが、観光客の利便を考えると仕方のないことです。」と仰っていました。

「日本の原風景というより、観光客の為につくられたテーマパークのような風景で何か物足りない。お土産屋さんもオリジナリティーのあるものが少なく、あるお店で買った袋入りドライフルーツは、袋の裏に(made in korea)とあり、がっかりしました。」白川郷にお連れしたお客様の中には、このような感想をもたれた方もいらっしゃいます。

ただ、世界遺産に観光で行く我々にとっては非日常ですが、そこに暮らす人々にとっては日常であり、生活していく場であるということを、忘れてはいけないように思います。

世界遺産に登録されると、木を1本切ることも、釘1本打つことも許可がいえると言われる中で、実生活と観光を両立させるのは、とてもむずかしいことと思われます。現地でも地域の小・中学生の活動や棚田オーナー制度などの手法で、農地を維持し、美しい風景を守る努力をしています。

添乗員は、お客様に集合時間と場所を伝え、観光地の多少の知識があり、トイレの場所がわかっていれば、それで良い。…これでは添乗という仕事は、おもしろくありません。  
添乗員として白川郷・五箇山に向かうバスの中などで、このような現地の実生活と観光の両立の話をお客様に伝えることも、とても大切なことだと思います。



## 千葉県・船橋市 東京ディズニーランドに最も近い温泉宿 旅館玉川

東京ディズニーランドをはじめ、幕張メッセ、葛西水族館等、観る聞く体験スポット盛りだくさん。

「お部屋」 ゆったりとした間取りと落ち着いた色調の客室には寛いだ雰囲気と快適なやすらぎが溢れています。  
「お風呂」 ほんのりと漂う湯の香りが日々の疲れを癒してくれます。  
●チェックイン／15時 チェックアウト／10時  
「お料理」 旬ならではの豊饒の食材を美しく当館自慢のおもなし料理  
●食事処 夕食／御会食場 朝食／御会食場

| 料金                  | 1泊2食・サ・税込(大人1名)     |
|---------------------|---------------------|
| 平日・休日               | 休前日                 |
| 1室3名 1室4名 1室5名 1室2名 | 1室3名 1室4名 1室5名 1室2名 |
| 9,450               | 10,500              |
| 10,500              | 10,500              |
| 10,500              | 11,550              |
| 11,550              | 12,600              |

■交通のご案内…J.R総武線船橋駅南口10分  
／京葉高速船橋出口より5分  
■住所…〒273-0011  
千葉県船橋市湊町2-6-25  
TEL 047(431)3234  
FAX 047(431)1343  
WEB http://www.tokyo-yamaguchi.com/



湯の香り漂うお風呂



お料理一例

## 山梨県・石和温泉 五つ星の宿(観光経済新聞社認定) 華やきの章 慶山

広々とした大浴場、岩輪の大露天風呂が自慢です。また、450畳の大宴会場他、一度に1000人まで収容ができる多目的ホールまで併設された総合ホテルです。  
「お部屋」 緩やかな時間が過ぎる寛ぎの和室をはじめ、洋室、和洋室、露天風呂付客室などございます。  
●チェックイン／15時 チェックアウト／10時  
「お料理」 地元の食材や旬の食材を活かしたお料理の数々をお楽しみください。●食事処 夕食／個室 部屋広間 朝食／レストラン(バイキング)

| 料金                  | 1泊2食・サ・税込(大人1名)     |
|---------------------|---------------------|
| 平日・休日               | 休前日                 |
| 1室5名 1室4名 1室3名 1室2名 | 1室5名 1室4名 1室3名 1室2名 |
| 10,000円～            | 14,000円～            |
| 10,000円～            | 14,000円～            |
| 11,000円～            | 15,000円～            |
| 13,000円～            | 17,000円～            |

■交通のご案内…J.R石和温泉駅より徒歩5分、車で中央道一宮御坂ICより10分  
■住所…〒406-0003  
山梨県笛吹市石和町市部822  
TEL 055(262)2161  
FAX 055(262)4162  
WEB http://www.keizan.com/



岩大露天風呂「六花仙」



毎晩開催の「慶山太鼓ショー」

## 山梨県・石和温泉 プロが選んだ旅館100選 料理部門入賞!! 華やきの章 甲斐路

自噴温泉をもち、その泉質の良さ広さで大好評。地元特産の甲州牛や、季節の山菜など、板長が腕をふるう創作会席も自慢の宿です。  
「お部屋」 やすらぎとしつらいの付まい、心と和室をはじめ、洋室、和洋室、和室タイプの特別室もございます。  
●チェックイン／15時 チェックアウト／10時  
「お料理」 「甲斐路」の創作会席料理を板長が心を込めてご提供いたします。●食事処 夕食 朝食／食事処 宴会場

| 料金                  | 1泊2食・サ・税込(大人1名)     |
|---------------------|---------------------|
| 平日・休日               | 休前日                 |
| 1室5名 1室4名 1室3名 1室2名 | 1室5名 1室4名 1室3名 1室2名 |
| 8,000円～             | 12,000円～            |
| 8,000円～             | 12,000円～            |
| 9,000円～             | 13,000円～            |
| 10,000円～            | 14,000円～            |

■交通のご案内…J.R石和温泉駅より車で5分、車で中央道宮御坂ICより5分  
■住所…〒406-0002  
山梨県笛吹市石和町中島160740  
TEL 055(262)7373  
FAX 055(263)5677  
WEB http://www.kaiji.co.jp/



女性大浴場



料理(一例)

## 伊豆七島を望める眺望と高温で良質の温泉 熱川ハイツ

湯煙漂う熱川温泉郷を見下ろし、高温で良質の温泉に浸かる。そこからの伊豆七島の眺めは「息を飲むほどの」絶景です。

「お部屋」 ホテル自体が船の「触先」をイメージして作られている事から伊豆大島を目の前に航路しているかの錯覚を体感できる空間です。  
●チェックイン／14時 チェックアウト／10時  
和65／洋5／和洋2  
「お料理」 漁師バイキングー海の幸を中心にライブクッキングにて実演中!  
●食事処 タ・朝食／レストラン  
「その他特色」 団体利用は、宴会場での個々のお膳にて宴会会にて承ります。



古代檜風呂



漁師バイキング (イメージ)



外観



展望露天風呂



絶景のロケーション

| 平日・休日       | 休前日    |
|-------------|--------|
| 1室5名 8,340円 | 8,340円 |
| 1室4名 8,340円 | 8,340円 |
| 1室3名 8,340円 | 8,340円 |
| 1室2名 8,340円 | 8,340円 |

■料金 1泊2食・サ・税込(大人1名)  
■交通のご案内…伊豆急下田線伊豆熱川駅から住所…〒413-0302  
静岡県賀茂郡東伊豆町奈良本1240-14  
TEL 0557(23)2300  
FAX 0557(23)1390  
WEB http://www.atagawa.info/

※小学生は7,140円、幼児は4,095円  
※[特]12/31~1/3、8/13~8/15  
※1室利用人数2名~5名

## 大阪府・大阪市 行楽弁当からこだわりの京風弁当「おばんさい」まで 手作り料理 れんが亭

仕出し弁当をはじめお花見などの行楽弁当、会議用のお弁当、運動会、などスポーツ祭の行事用のお弁当、法事、法要など慶弔用の会席のお弁当も賜ります。また、当店のこだわり弁当として四季折々の旬の食材を使った女性に人気の京風弁当「おばんさい」シリーズも好評です。

「お弁当の種類」 行楽用弁当(4種)、おばんさい(5種)、日替わり幕の内(7種)、イベント・会議・会席弁当(5種)、ロケ弁当(3種)、会席弁当(5種)、れんが亭オリジナル弁当(4種)、洋風オールドブルも承ります。※季節により内容等が変更の場合もございますのでお問合せください。  
■営業時間…8時~16時 ■定休日…年中無休  
■住所…〒556-0002  
大阪府大阪市浪速区桜川3-15-6  
フリーダイヤル 0120(377)668  
TEL 06(6561)7766  
FAX 06(6561)7766  
WEB http://www.bentou.jp



おばんさい山科 1,260円



松花堂幕の内 840円



おばんさい金器御飯 2,000円



連載寄稿 第11回

誰もが安心旅行実現のために



バリアフリー旅行ネットワーク

平森 良典

(ひらもり よしのり)

バリアフリー旅行ネットワーク初代会長

(株)昭和観光社 代表取締役

バリアフリー旅行30年の実績 広島県出身



ユニバーサルツーリズムのメリット

【はじめに】

日本の観光旅行の歴史は浅いが、当初は「庶民には贅沢で特別なもの」であった観光旅行が、1970年ごろから広く大衆化されてきました。そして現在は、特に制約がなければ、誰でも世界中を移動できるような社会になりました。

ユニバーサルツーリズムとは、年齢、性別、国籍、文化、身体能力など、全ての人の様々な特性や違いを超えて誰もが平等に旅をおこなえるよう、旅行環境創出のための取組をいいます。

しかし、ユニバーサルツーリズムの観点から考察すると、旅行に行きたくても行けない方が、身体的理由などで潜在需要が埋もれている現状です。

そこで、今回は、旅行業者としてユニバーサルツーリズムを実践する意義をお話しましょう。

【おもてなしの心で夢を叶えるお手伝い】

旅行者は誰でも、旅行に行くときは、何かしらの目的があります。「生まれてはじめての露天風呂に入りたい」「見知らぬ土地の空気に接したい」「生まれ故郷を訪ねたい」

個々の能力で旅行を実現できない人々への、おもてなしの心で夢を実現するお手伝いは、サービス業で一番大切なことです。

価値創造し、旅行業者のホスピタリティを実践できるのが、ユニバーサルツーリズムです。これは、真心のおもてなしを実践することで、従業員のヒューマニズム育成へとつながります。

【受入施設の理解と協力の広がり】

2003年、岡山県内の温泉旅館で、盲ろうあ者でつくる団体の宿泊予約時の人権認識不足問題がありました。

同年、熊本県内の温泉旅館がハンセン病患者に対して宿泊を拒否した事件がありました。私も、以前は、「他のお客様に迷惑がかかるから」などと、遠回しに受入施設から利用を拒否されることが幾度とありました。

しかし、あれから10年が経過した今、観光の受入情勢も様変わりし、理解と協力が広がってきました。これも、各種分野の献身的な活動が実を結んだものと実感しています。

送り手側の旅行業者としては、この時勢に乗り、外出に不安を抱く方々に対する旅行支援の重要性が高まるものと考えています。

【行きたくても行けない人たちの発掘】

前述のように、日本全国では、旅行したくても身体能力を理由に、諦めている人がたくさんおられます。家に閉じこもりがちな人々に、旅行の楽しさを感じて頂く事が、しばみかけていた心には、何よりのカンフル剤になります。そのイキイキした表情は、周りのご家族も幸せになり、相乗効果となります。

私たち旅行業者としては、そのような隠された需要を、全国各地で発掘し、発地側の活性、着地側の活性という社会貢献と自社に対しての効果が期待できます。

【収益性と人材育成】

ユニバーサルツーリズムは、従来の旅行形態から、企画や手配内容が増えます。反面、収益性も上がるという道理にもなります。とかく、手間がかかると思いがちですが、福祉業界では、全て課金しています。

サービスの提供=おもてなし=旅行価値=課金=収益性

収益性→新たな雇用→ホスピタリティ溢れる人材の育成→次世代へ。



乗鞍岳畳平



三重県二見が浦



鳥取砂丘馬の背



京都二条城

次頁へ

主要旅行業者の旅行取扱状況速報

(平成24年9・10月分)

■平成24年9月分

- 海外旅行は、対前年同月比で93.7%となった（東日本大震災の影響があった平成23年3月以来、14ヵ月ぶりの減少、対前々年同月比で97.8%）。一部の旅行会社によると、中国、韓国方面が低調となっているとのこと。
- 外国人旅行は、対前年同月比で128.0%（対前々年同月比で85.4%）となった。
- 国内旅行は、対前年同月比で96.3%（7ヵ月ぶりの減少、対前々年同月比で98.4%）となった。

■平成24年10月分

- 海外旅行は、対前年同月比で96.8%（2ヵ月連続の減少、対前々年同月比で101.5%）となった。一部の旅行会社によると、引き続き中国、韓国方面が低調となっているとのこと。
- 外国人旅行は、対前年同月比で119.9%（対前々年同月比で89.1%）となった。
- 国内旅行は、対前年同月比で98.4%（2ヵ月連続の減少、対前々年同月比で99.1%）となった。

【観光庁調査 主要58社による旅行業者の旅行取扱状況速報より】

全旅協生命共済制度医療保障プラン  
加入キャンペーンのお知らせ

会員の皆様向けの福利厚生制度「全旅協生命共済制度医療保障プラン」の  
更新募集(年1回)が2月中旬から始まります。  
保険始期は、平成25年6月1日です。パンフレット・申込書は会員様向け2月中旬に発送。

- 多くの皆様が加入することで、より保険料が割安になる団体型の無配当医療保障保険です。
- 不慮のケガや病気に対し、入院や手術を保障するプランです。
- 1泊2日の入院から保障され、手術給付金は無制限で何度でも給付金を受取る事ができます。
- オプション加入で、生活習慣病や三大疾病(ガン・急性心筋梗塞・脳卒中)に手厚い保障で備えることができます。

(ご加入の際にはパンフレットにて詳細を必ずご確認ください)

当制度にご理解を賜り、是非この機会にご加入をご検討いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

■引受保険会社(事務幹事) 三井生命保険株式会社 公法人営業部 TEL.03-6831-8843



# 「地旅」で出会う 日本の笑顔 ようこそ、中国・四国！ 元気な日本へ！



私たちは、東北・東日本の観光復興と日本各地の観光振興を応援します

東北・東日本  
観光復興支援キャンペーン  
実施中

風評被害の払拭に取り組みます  
正確な情報を提供します  
東北・東日本への送客を支援します  
東北地方への修学旅行の誘致に努めます  
東北産食材の使用を働きかけます



社団法人 **全国旅行業協会**  
ALL NIPPON TRAVEL AGENTS ASSOCIATION

後援



**観光庁**  
Japan Tourism Agency

こころ、むすぶ。  
**東北観光博**  
東北ゼンベいの博覧会場だ。

あなたの旅で東北観光復興を応援しよう

前頁より

## 【地方事例】～京都ユニバーサルツーリズム～

ホームページ「京都ユニバーサル観光ナビ」には、京都のバリアフリー情報681件の掲載と360度の画像による高低差も紹介されています。

京都ユニバーサルツーリズム・コンシェルジュを、全国自治体に先駆けて導入し、市民3名が電話とメールによる無料相談を行っています。

### <まとめ>

- ・旅行者がよい旅をすれば、元気が湧いてきます。もっともっと頑張れる。自信が湧きます。
- ・旅の持つ底力を多くの人に伝え実践することが、ユニバーサルツーリズムではないでしょうか。
- ・全ての人に幸せを呼び込めるように。



京都嵯峨野竹林

文責 バリアフリー旅行ネットワーク 副会長 近畿東海ブロック長  
夢ツーリストきたみ 北見 貴志

## 【 バリアフリー旅行ネットワーク 】

### 入会について <12月9日現在 会員106名>

- 会員（企業・グループ・団体） 入会金 3,000円 年会費 6,000円
  - サポーター会員（個人） 入会金 1,000円 年会費 無料
- ☆詳しくはホームページ“入会手続き”をご覧ください。

### お問い合わせ先

バリアフリー旅行ネットワーク  
本部事務局 〒604-8472 京都市中京区西大路太子道西入  
TEL (075) 812-1466 FAX (075) 822-8032  
<http://www.bari-net.jp/> [barifuri-net@world.ocn.ne.jp](mailto:barifuri-net@world.ocn.ne.jp)



神社の階段研修

### これからの事業予定

| 月日              | 事業名             | 開催地 |
|-----------------|-----------------|-----|
| 1月26日<br>15:00～ | 関東意見交換会         | 未定  |
| 2月下旬            | 定例総会<br>全国意見交換会 | 未定  |

※予定が変更される場合がありますので本部事務局までお問い合わせください

- 意見交換会は随時全国各地で開催
- 旅行者及び会員の「喜びの声」収集中
- ホームページ内「真心安心モデルコース」更新中

## 愛知県・美浜町

### 焼きたてのせんべいが大人気 えびせんべいの里美浜本店

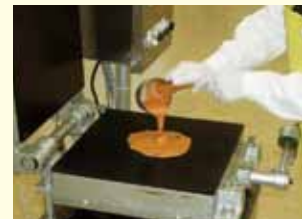
知多半島の観光名所といえば「えびせんべいの里」(美浜町北方)。工場隣接の直営店舗が終日、買い物客でにぎわっている。目当ては大袋に入った数々のえびせんべい。甘くて味がよくて品質にこだわったエビ、北海道産のバレイショなど素材を厳選し、熟練の職人さんが丹精こめて焼き上げる。エビを1グラムでも多く入れておいしさを追求し続けるのがオーナーの信条。40種類以上の商品がある中、そのほとんどを試食できるのも納得した上で購入して欲しいから。商品を売るだけでなく、楽しい時間と清潔な空間を作っていきたい。1か



全景



工場見学



えびせん体験焼き



ハーツガーデン

月に1000近く集まるお客様アンケートに答え、改善を図っている。販売だけでなく「工場見学」や「えびせん体験焼き」にも力を入れて楽しめる体験型施設を目指す。館内には無料コーヒー設置の休憩スペースもありゆとり時間が過ごせる。道路の向かいにはフクシアが咲き、年中花が楽しめる温室ハーツガーデンもある。

■営業時間…8時～17時 年中無休※各種イベントは開催日・時間等異なりますのでお問い合わせください。  
■住所…〒47012403  
愛知県知多郡美浜町北方吉田流5211  
TEL 0569(82)0248  
FAX 0569(82)0676  
WEB <http://www.ebisato.co.jp/>



尾瀬

富岡製糸場

草津

日本のふるさとぐんま  
おいでよ!日本のド真ん中。

# 第9回 国内観光活性化フォーラム in 群馬

●開催日程  
平成25年(2013)1月23日(水)・24日(木)  
●フォーラム会場・懇親交流会場／前橋市 グリーンドーム前橋

23日:シンポジウム・懇親交流会  
24日:エクスカーション

行こうよ!  
東北・東日本

みんなで  
日本を元気に。



主催:社団法人全国旅行業協会 共催:株式会社全旅・地元実行委員会(関東地方協議会／群馬県支部)

後援:国土交通省、経済産業省、観光庁、群馬県を含む47都道府県、群馬県市長会、群馬県町村会、(財)群馬県観光物産国際協会、(財)前橋観光コンベンション協会、(社)日本観光振興協会、(社)日本観光旅館連盟、(社)国際観光旅館連盟、日本商工会議所、(社)群馬県商工会議所連合会、群馬県商工会連合会、群馬テレビ株式会社、上毛新聞社、株式会社エフエム群馬

山口県・下関市 テレビや情報誌も注目!手軽なふく料理専門店

ふく専門 やぶれかぶれ

ふく料理以外は取り扱いなし。質・量、価格は安心、とくに、自慢は、体によい事を一番に、ポン酢は自家製でバツグンです。小部屋、中部屋、大部屋を完備。トイレは8か所、どれもウォッシュレットで安心。掘りゴツ式が4室あり、すべて座敷で1人用からOKです。お土産コーナーもあります。当店はふく専門工場(ふく工房)を持った、卸問屋直営なので毎日活とらふくを処理している、下関屈指の販売会社です。従来のふくフルコースだけでなく、焼いて食べる鉄やキとらふくは、人気最高。



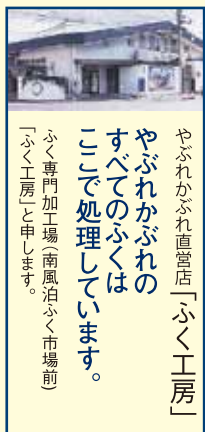
さかなクン来店



源氏コース 6,300円



平家コース 6,300円



やぶれかぶれ直営店「ふく工房」  
すべてのふくの  
ここで処理しています。

宅配の老舗 本家はぎわら

① おためしセット

② そくさい

③ 恵比寿

④ 毘沙門天

⑤ 布袋

お刺身は冷凍せず「生」で発送するので、注文はお早めをお願いします。※場合によりご希望に添えないこともございます。

注文方法

① 注文書をホームページよりプリントしてご利用ください。HPアドレス <http://820.jp/>  
支払い方法(銀行振込、郵便振替、商品代引き)  
■注文書をFAXしてください。

083(232)7746

083(232)8294

お電話でも受付しております。

熊本県・黒川温泉

日常を離れ、四季折々の自然と温泉の寛ぎを味わう癒しの宿  
湯峡の響き 優彩

筑後川の源流沿いに建つ和風旅館。四季折々に変化する大自然の中でどこにもないとびつきの湯絵巻をお楽しみ下さい。

「お部屋」和室が中心ですが和洋室、露天風呂付特別室の他、超人気の別館「灯小路」につき、本館「灯小路」がオープンいたしました。  
●チェックイン／15時 チェックアウト／10時和30／洋2／和洋21／その他2  
「お料理」山の素材中心の和食の創作会席。  
●食事処 タ・朝食／部屋または食事処  
「その他特色」黒川温泉の趣向をこらした露天風呂めぐり入湯手形が好評です。



渓流の湯



灯小路へのアプローチ



外観



本館和室



「竹林の湯」大浴場

|                | 平日・休日   | 休前日     |
|----------------|---------|---------|
| 1室5名 1室3名 1室2名 | 16,950円 | 17,950円 |
| 2室5名 2室3名 2室2名 | 16,950円 | 17,950円 |
| 3室5名 3室3名 3室2名 | 16,950円 | 17,950円 |
| 4室5名 4室3名 4室2名 | 19,050円 | 20,050円 |

※小学生は大人料金50%、  
※[特]12/31~1/3  
※1室利用人数2名~5名

■料金 1泊2食、サ:税込(大人1名)

■交通のご案内 大分自動車道日田ICより50km  
豊肥線 阿蘇駅よりバスで50分  
■住所 〒869-2402  
熊本県阿蘇郡南小国町満願寺北黒川6554

TEL 0967(44)0111  
FAX 0967(44)0115  
WEB <http://www.yusa.com/>



平成24年10月・11月 正会員退会者

● 平成24年10月分

| 登 録 番 号    | 名 称 又 は 商 号               | 代 表 者 |
|------------|---------------------------|-------|
| 北海道 2-518  | (株)ソフトコーポレーション(ソフト旅行センター) | 若林 輝彦 |
| 埼玉県 3-1052 | 昭和観光自動車                   | 新井 友一 |
| 東京都 3-1626 | (株)トーキョーリョービ              | 小嶋由美子 |
| 東京都 2-2122 | グリーントラベルサービス(株)           | 杉山 剛  |
| 東京都 3-5984 | 全但トラベルサービス                | 早水 健雄 |
| 長野県 3-352  | 塩尻タクシー(株)(アルプス観光旅行社)      | 中村 平  |
| 岐阜県 3-56   | 中津川観光旅行協会                 | 田中と志ゑ |
| 大阪府 3-1108 | ホビートラベル(株)                | 山本 昇蔵 |
| 兵庫県 3-337  | (株)みずほトラベル                | 山中 英彦 |
| 和歌山県 3-228 | (株)美装(オレンジ台)              | 山口 淳  |
| 宮崎県 3-98   | (有)日の出観光トラベル              | 矢野 光代 |
| 鹿児島県 3-127 | (有)えびの交通旅行社               | 藤井 篤美 |

● 平成24年11月分

| 登 録 番 号    | 名 称 又 は 商 号               | 代 表 者 |
|------------|---------------------------|-------|
| 北海道 2-354  | (株)クラブ・キッズ(キッズ・インターナショナル) | 山田 茂人 |
| 山形県 3-257  | 山形タカセ観光社                  | 斎藤 峰之 |
| 福島県 3-333  | 会津ひかり観光(株)                | 斉藤 充弘 |
| 茨城県 3-478  | 川松観光                      | 川松 洋一 |
| 埼玉県 2-940  | 木村観光バス(株)                 | 木村 朋靖 |
| 東京都 3-456  | 中央観光協会                    | 中村吉次郎 |
| 東京都 3-2321 | (有)花畑観光サービス               | 工藤 久子 |
| 東京都 3-3252 | 西東京旅行                     | 野田 勇  |
| 東京都 3-5973 | (N P O) グローバルキャンパス        | 大社 充  |
| 東京都 3-5975 | (株)ティエルツアー                | 岡部由美子 |
| 神奈川県 3-906 | ウインエンタープライズ(株)(ウイントラベル)   | 青島 幸子 |
| 愛知県 3-930  | クローネサザンクロストラベル            | 畔柳由記子 |
| 三重県 3-273  | (株)合歓の郷                   | 山際 洋  |
| 三重県 3-314  | (有)メインプラネット(トラベルサテライト)    | 北川 健人 |
| 大阪府 3-2616 | (株)ネットマート(得旅ドットコム)        | 川口 雅彦 |
| 兵庫県 2-347  | (株)ガリバー・ツーリスト             | 今竹 正記 |
| 山口県 2-90   | サンデン交通(株)                 | 山田 忠平 |

平成24年10月・11月 正会員入会者

● 平成24年10月分

| 登 録 日<br>入 会 日         | 登 録 番 号     | 名 称 又 は 商 号                                | 代 表 者 |
|------------------------|-------------|--------------------------------------------|-------|
| H24.07.31<br>H24.10.09 | 北海道 2-629   | (株)北海道ブブ(M I D トラベル)                       | 相川 政二 |
| H24.10.03<br>H24.10.05 | 北海道 2-631   | 札幌観光バス(株)                                  | 神田 光彦 |
| H24.10.04<br>H24.10.15 | 北海道 3-632   | (株)クローバープラン(よつばくらぶclover plan)             | 佐藤 洋紀 |
| H24.10.22<br>H24.10.30 | 北海道 2-633   | (株)アンビックス                                  | 前川 二郎 |
| H24.09.27<br>H24.10.02 | 栃木県 2-680   | (株)大田原ツーリズム                                | 藤井 大介 |
| H24.10.01<br>H24.10.04 | 栃木県 3-681   | (株)グリーン観光旅行社                               | 早乙女善明 |
| H24.08.20<br>H24.10.09 | 千葉県 3-865   | (株)ウェブ(ウェブツアー)                             | 山下 実  |
| H24.10.18<br>H24.10.18 | 千葉県 3-867   | ジャパンフェアリーランカ(株)(J F L トラベル)                | 宮田喜久雄 |
| H24.10.17<br>H24.10.23 | 千葉県 3-870   | あさひ観光(株)                                   | 大橋 喜宏 |
| H05.05.14<br>H24.10.09 | 東京都 3-3274  | 富士急セールス(株)                                 | 岩田 大昌 |
| H17.05.17<br>H24.10.09 | 東京都 3-5607  | (株)ツーリズムソリューション                            | 樋口由美子 |
| H24.10.25<br>H24.10.25 | 東京都 3-6583  | (株)アポロプランニング                               | 村木 紀美 |
| H24.10.04<br>H24.10.11 | 長野県 2-542   | (株)Shigakogen Travel Bureau ((株)エス・ティー・ビー) | 小根澤資弘 |
| H24.10.19<br>H24.10.25 | 長野県 3-544   | (一社)信州しなの町エコツーリズム観光                        | 狩野 土  |
| H24.10.16<br>H24.10.26 | 岐阜県 3-317   | (株)せんがプランニング                               | 花川 和久 |
| H24.10.15<br>H24.10.17 | 京都府 3-616   | (合同)京遊トラベラー                                | 平岡 弓忠 |
| H24.10.15<br>H24.10.23 | 京都府 3-617   | Small J                                    | 服部 直子 |
| H24.04.23<br>H24.10.09 | 大阪府 3-2631  | (株)アクジカ                                    | 高畑 哲也 |
| H24.10.01<br>H24.10.09 | 兵庫県 2-688   | (株)くるーずせとうち                                | 神野 博一 |
| H24.10.10<br>H24.10.11 | 広島県 3-399   | (株)SENJU (Kanon Travel)                    | 有瀬 聖子 |
| H24.09.20<br>H24.10.01 | 長崎県 2-163   | (株)K T N ソサエティ                             | 福生 泰彦 |
| H24.10.15<br>H24.10.24 | 観光庁 1-1941  | (株)東奥日報サービス                                | 塩越 隆雄 |
| H24.10.29<br>H14.10.09 | 千葉県 3-869※  | (株)オフィスカワタニ                                | 河谷 龍彦 |
| H24.10.25<br>H19.10.23 | 東京都 3-6585※ | A Y T                                      | 横川 裕人 |
| H24.10.05<br>S61.03.14 | 大阪府 3-2644※ | 丸山観光サービス                                   | 丸山 律子 |
| H24.10.02<br>H21.02.12 | 広島県 2-397※  | (株)田島観光                                    | 今川久美子 |

● 平成24年11月分

| 登 録 日<br>入 会 日         | 登 録 番 号    | 名 称 又 は 商 号           | 代 表 者 |
|------------------------|------------|-----------------------|-------|
| H24.11.22<br>H24.11.28 | 秋田県 3-130  | 秋田トラベル                | 能登屋 稔 |
| H24.11.22<br>H24.11.29 | 埼玉県 3-1108 | (株)あんしんトラベル           | 横田 健治 |
| H24.11.01<br>H24.11.07 | 東京都 3-6586 | (株)ゼットン               | 稲本 健一 |
| H24.11.16<br>H24.11.19 | 福井県 3-208  | たかはま観光サービス            | 坪井 哲  |
| H24.11.02<br>H24.11.08 | 静岡県 3-603  | (一社)富士山浪漫之旅           | 土屋 敏博 |
| H24.11.22<br>H24.11.29 | 愛知県 2-1337 | (生協)東海コープ事業連合(旅行センター) | 夏目 有人 |
| H24.11.21<br>H24.11.27 | 愛知県 3-1338 | (株)TRAVEL CREATE      | 川村 茂美 |
| H22.09.24<br>H24.11.29 | 大阪府 3-2571 | 西日本旅行業協同組合            | 熊代 紘一 |
| H24.08.22<br>H24.11.29 | 大阪府 3-2642 | (株)レイズコーポレーション        | 池田 誠  |
| H24.11.19<br>H24.11.22 | 大阪府 2-2649 | (株)たびばる               | 三好 弘之 |
| H24.10.29<br>H24.11.16 | 宮崎県 3-160  | (株)エーエスシー             | 寺田 正直 |

登録番号の※印は当協会制度による「会員資格継続」を示す。「名称又は商号」の(一社)は一般社団法人、(合同)は合同会社の法人形態の略称を示す。



# 全国共通お食事券販売のご案内 (ジェフグルメカード)



～様々な場面にご提案頂けます!～

- ①ご旅行の自由行動時のお食事券として
- ②企業の福利厚生用として(永年勤続表彰)など
- ③謝礼や贈答として(様々な謝礼や贈答など)
- ④キャンペーン賞品として(顧客・法人向けに)

## ジェフグルメカードの特徴

- 1 有効期限がない!
- 2 全国3万5000店で利用可能!
- 3 贈答・福利厚生など幅広く使える!

日本全国  
**35,000**店で  
ご利用頂けます

■主要加盟店

ファミリーレストラン

ファーストフード、テイクアウト、宅配

和食、洋食、焼肉 など

居酒屋

こちらのステッカーの貼ってある店舗でご利用頂けます

資料請求  
ご注文は  
こちらまで

株式会社全旅 物品販売課

**TEL: 03-5250-2033 FAX: 03-5250-2036**



(株)日本旅行の販売システム  
《αLine(アルファライン)》の精算が  
全旅クーポンで可能となりました

- ★(株)日本旅行様の赤い風船・日本の宿・旅の宴ま帳等の国内商品、マッハ・ベスト等の海外商品が取扱可能。
- ★(株)日本旅行様への保証金が不要。
- ★(株)日本旅行様へのお支払は全旅クーポンで行いますので、精算は月1回。通常の全旅クーポン代金請求書に計上されます。
- ★会員様での全旅クーポン発券操作が不要。  
《αLine》で予約確定すると、ANTA-NETで全旅クーポンデータが自動作成されます。
- ★お手続きは簡単。お申込書と委任状をご提出いただくだけです。(会員様と(株)日本旅行様との提携契約を弊社が代理して締結致します。)

※別途、初期導入費用:パソコン1台目 10,500円(消費税込) 2台目以降 5,250円/台(消費税込) 利用料:[台数に関係なく]:毎月5,250円(消費税込)が掛かります。  
※全旅クーポン送客会員様に限ります。また海外商品の取扱いは総合旅行業務取扱管理者選任会社に限ります。



## 全旅メールサービスのご案内

- ★ご希望のメールアドレス宛に、各会員様からお寄せ頂いた旅行商品情報や、関連する商品(地域特産品等)のご案内、営業活動にお役立ち頂ける観光に関連した補助金・助成金情報などを随時配信していくサービスです。

[申込方法] 配信をご希望されるメールアドレスから、以下内容をメールにて送信してください。  
▶宛 先: zenryomail@zenryo.co.jp  
▶タイトル: 全旅メールサービス登録  
▶本 文: 御社名・担当者名・電話番号

※ご登録は無料です。随時募集しております。  
※3営業日以内に登録完了のメールをお送り致します。  
※携帯電話のメールアドレス宛をご希望の際は、zenryomail@zenryo.co.jp を受信出来るように設定をお願い致します。  
※情報が入り次第随時配信させていただきます。

お問合せ先: (株)全旅 クーポン事業部  
TEL 03-5250-2088 FAX 03-5250-2085



# 株式会社全旅 掲示板

## 全旅協制度商品募集スケジュール



株式会社全旅で取扱のある全旅協制度商品の募集スケジュールをご案内いたします。継続加入の手続き等お忘れにならないようにご注意ください。もちろん未加入の会員様の新規のご加入もよろしくお願い申し上げます。

| 制度種類       | 保険始期    | 募集時期(予定) |
|------------|---------|----------|
| マネーガード保険   | 毎年3月1日  | 毎年1月中旬   |
| オフィスガード保険  | 毎年3月1日  | 毎年1月中旬   |
| 会員保険       | 毎年6月1日  | 毎年4月中旬   |
| 生命共済制度     | 毎年6月1日  | 毎年2月初旬   |
| 所得補償保険     | 毎年10月1日 | 毎年7月下旬   |
| 旅行業者賠償責任保険 | 毎年11月1日 | 毎年9月下旬   |
| 旅程保証責任保険   | 毎年11月1日 | 毎年9月下旬   |

制度によっては、中途加入も可能ですので、お気軽に(株)全旅保険事業部までお問い合わせください。

## <お問い合わせ先>

株式会社 全旅 保険事業部

104-0061 東京都中央区銀座1-15-4 銀座一丁目ビル6F

TEL 03-5250-2002 FAX 03-5250-2010





a hospitality for your relaxation

**マロウドインターナショナルホテル成田**  
tel 0476-30-2222 〒286-0102 千葉県成田市駒井野 763-1

**ホテルマロウド箱根**  
tel 0460-82-3131 〒250-0408 神奈川県足柄下郡箱根町強羅 1320

**ホテルマロウド軽井沢**  
tel 0267-42-8444 〒389-0102 長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢 1178

**ホテルマロウド筑波**  
tel 029-822-3000 〒300-0042 茨城県土浦市城北町 2-24

**マロウドイン赤坂**  
tel 03-3585-7611 〒107-0052 東京都港区赤坂 6-15-17

**マロウドイン東京**  
tel 042-369-1111 〒183-0005 東京都府中市若松町 1-4-1

**マロウドイン大宮**  
tel 048-645-5111 〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町 2-173

**マロウドイン熊谷**  
tel 048-525-7611 〒360-0032 埼玉県熊谷市銀座 1-64

**マロウドイン八王子**  
tel 042-623-7111 〒192-0084 東京都八王子市三崎町 6-11

**マロウドイン飯能**  
tel 042-974-4000 〒357-0021 埼玉県飯能市双柳 105-8

**かぶせるイン赤坂**  
tel 03-3588-1811 〒107-0052 東京都港区赤坂 6-14-1

URL <http://www.marroad.jp/>



マロウドインターナショナルホテル成田

HOTEL MARROAD



当選者5名様にクオカードが当たる!

**パズルでひと息**

- ① ○○○○を立てる  
——事を荒立てます。  
② 怒って——○○をなす。  
③ ○○○の鼠  
——逃げられません。  
④ 試行錯誤の繰り返し。  
⑤ おひたしにして食べます。
- ⑦ 特に優れたところはありません。  
⑧ 偏食。  
⑨ もう夜です。  
⑩ 化学肥料の使用を控えて  
——○○○農業。  
⑪ 敗北です。  
⑫ 日本の金山と言えば…。  
⑬ ちゃぶ台、タンス等々。

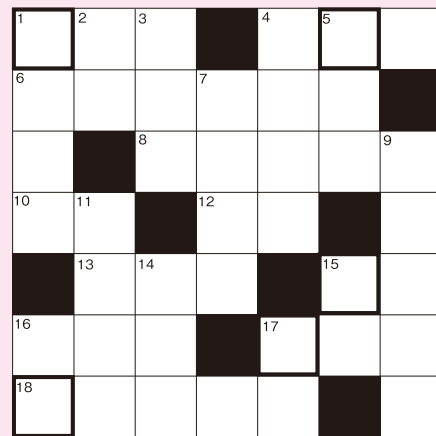
- ① 人に向けないで…。  
④ 男性の一種。  
⑥ 五六億七千万年後に現れます。  
⑧ 遠くの味方にボールを送ります。  
⑩ マネー。  
⑫ ○○を戻す——仲直り。  
⑬ 本文の補足説明に。  
⑮ 燃料用木材。  
⑯ 土砂崩れを防ぎます。  
⑰ 断片です。  
⑱ 合体。



**プレゼント**

ハガキに答えと会社住所・社名・氏名・所属支部・旅行業登録番号・本誌の感想を書いて、お送り下さい。〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-20 田中山ビル5F 全国旅行業協会「パズル」係 正解者の中から抽選で5名の方にクオカード千円分を差し上げます。締め切りは、2月25日。商品の発送をもって発表にかえさせていただきます。なお、正解は次号に掲載します。

黒太枠に入る字の順序を考え、答えを見つけてください。  
【ヒント】 真っ赤です



11・12月号のパズルの答え

コメダワラ  
1 ハ 2 ク 3 ガ 4 シ 5 セ  
6 リ 7 ロ 8 ャ 9 ミ 10 ラ イ  
11 コ 12 ス 13 モ 14 ス 15 ブ シ  
16 ミ 17 ド 18 ミ 19 ノ 20 シ  
21 メ 22 カ 23 ワ 24 レ 25 ツ カ  
26 イ 27 ン 28 ト 29 ン 30 イ シ



全旅協の動き

12月1日～1月31日

- 12月3日(月) 第21回苦情弁済委員会  
12月4日(火) 苦情対応セミナー(大阪)  
12月7日(金) 平成24年度第3回関東地方協議会支部長会議(埼玉)  
12月10日(月) 震災復興観光推進国民会議 山形フォーラム(山形)  
12月11日(火) 国内観光活性化フォーラム第3回実行委員会  
12月12日(水) 常任委員長会議  
12月13日(木) ツアー登山ANTA/JATA/日本山岳ガイド協会連絡会(東京)  
12月17日(月) 苦情対応セミナー(広島)  
12月19日(水) 第2・四半期監事監査  
12月21日(金) 第2・四半期監事監査  
12月27日(木) 平成24年度臨時総会(東京)  
12月27日(木) 一般社団法人移行経理説明会(東京)  
12月27日(木) (株)全旅第8回取締役会(東京)  
12月27日(木) 旅行業公正取引協議会理事会(東京)  
12月27日(木) 第5回機構改革検討会  
12月27日(木) 第2・28回常務理事会  
12月27日(木) 監査法人監査  
12月27日(木) 奈良県支部一般社団法人設立総会(奈良)  
12月27日(木) 第9回国内観光活性化フォーラムinぐんま(群馬)  
12月27日(木) 第15回総務財務委員会  
12月27日(木) 第86回試験研修委員会  
12月27日(木) 第15回総務財務委員会  
12月27日(木) 第86回試験研修委員会

( ) 内は開催地。無記載は全旅協本部事務局

渡航情報(スポット情報)

問い合わせ先

- ◆外務省領事局 領事サービスセンター(海外安全担当)  
TEL: 03-5501-8162(直通)  
TEL: 03-3580-3311(代表)  
(内線 2902・2903)
- ◆インターネット/外務省海外安全ホームページ  
<http://www.anzen.mofa.go.jp/>





全旅協〈旅行災害補償制度〉で

**安心をシッカリとかたちに  
しています。**



幹事会社／株式会社 損害保険ジャパン



副幹事会社／三井住友海上火災保険株式会社



アリアンツ火災海上保険株式会社



「全旅協旅行災害補償制度」のお問い合わせは、  
下記までお願い致します。

株式会社 損害保険ジャパン

営業開発第一部第三課

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1

TEL.03(3349)4037